

地方史情報 130

2016年10月

近世琉球貿易史の研究

上原 謙善

15世紀以降16世紀にかけての琉球国の対外貿易については我々は、多くの蓄積もっている。しかし、近世期の琉球国に関しては意外にも当該テーマの研究は手薄であったといっても過言ではない。その理由は前期の琉球国が中国・日本・朝鮮・東南アジア諸国との貿易で繁栄し、黄金時代を築きあげたのに対し、後期の琉球国は島津氏の支配下に置かれ、貿易圏は縮小し、かつての貿易立国としての覇気が失われたという理解が意識の根底に存在するからであろう。しかし、後期の琉球国は中国と進貢貿易を継続し、いっぽうで薩摩藩を介して強く幕藩制市場と結びつくことで国家経済を維持していたことは紛れもない事実であり、その実態分析を抜きにしては琉球国の構造を理解することはできないと考える。そうした観点から、本書ではまず中国市場での唐物購入にあたっての資金の調達、輸入唐物の日本市場での換銀という進貢貿易の基本的な構造を明らかにする。(中略)

これ(対馬藩の対朝鮮貿易)に対して、琉球の進貢貿易は、薩摩藩の戦略もあって、19世紀のはじめには長崎の会所貿易にシステムの結ばれ、長崎商法とよばれる薩摩藩の唐物商売は以後拡大を遂げながら安政の長崎開港まで続けられる。こうした薩摩藩の会所貿易への食い込み運動は、会所役人を抱き込んで展開されたがゆえに、会所貿易を揺るがすことになったことはいままでの間もない。また同時に御免品の調達、流通をめぐる規制強化となって琉球に跳ね返っていくことになった。本書では次にこうした薩摩藩の長崎の唐物取引市場への参入がもたらした問題点について触れる。

本書は琉球口貿易ならびに薩摩藩の唐物商法の展開過程の解明に中軸を据えたものであるが、しかし着目したのは唐物だけではない。琉球には王府財政を基盤から支える砂糖・鬱金・反布・藍・泡盛などの諸特産品が存在した。それらが貿易資金源であるかぎり無視するわけにはいかないので、その流通についてもとりあげることにする。長崎商法品以外の唐物および諸特産品の、鹿児島ならびに上方市場への販売にあたっては、もちろん薩摩藩の領主的規制がかけられ、自由な交易は封じられていた。それゆえに琉球と薩摩藩との間には商品の販売利益の獲得をめぐる確執が生じることは避け難いことであった。それは決してあからさまにでなく隠微なかたちをとって現れている。本書ではそうした静かな闘争に着目して、琉球と日本幕藩制国家との関係を読み解くことにつとめる。

(上原謙善『近世琉球貿易史の研究』2016.06、小社刊、序論より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目
1-1 TEL011-299-6834 年5000円

◇58 2016.3 B5 14p

利尻島史にみるアイヌ語地名(1)

マクドナルド、利尻島上陸 西谷 榮治
アイヌ語地名と神話・伝説 児島 恭子
アイヌ語地名、アイヌ民族の由来
・原点を振り返る(近年の研究
から見る見解) 中江 徹

新聞記事紹介 「イタラタラキ」
は「十勝坊主」 早田国光さん

◇59 2016.5 B5 14p

アイヌ語地名と神話・伝説(2)『地
名と風土』9号 寄贈著書より
転載) 児島 恭子
利尻島史にみるアイヌ語地名(2)
会津藩の利尻島警固 西谷 榮治
池田実・著作目録
『アイヌ語地名研究』18号 その
主な見どころを紹介します。 伊藤せいち

◆浦幌町立博物館年報

〒089-5614北海道十勝郡浦幌町桜町16-1
TEL015-576-2009 2000年創刊

◇16 2016.3 A4 109p *事業報告のみ

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
TEL011-761-8014 年2000円 1985年創刊
www.2ocn.ne.jp/~history/

◇59 2016.4 B5 80p 1000円

歴史の傷跡—幼き日の追憶 後藤 良二
子思孫尊 開拓の歴史を未来につ
なげる 旭川屯田兵四世・芦原
高穂さん 聞き手・梶田博昭
特集 屯田兵関連3史料

道文化財に指定
初の絵図・文書、浮かび上がる
兵村の実像と変遷
文化財指定の意義と課題 寺本 忠孝
廣澤徳治郎小伝
文の嗜みと武の心で生き抜く
兵村会と新琴似の自治活動 梶田 博昭
歴史の中の馬と屯田兵(下)

一騎馬屯田兵 江口 憲人
古地図の散歩道 「北海道後志国
小樽郡小樽内図」(北海道立図
書館所蔵)
屯田兵は見た 港町百景 宮内 隆一
一節抜粋 若林滋著『箱館戦争再
考』、小山内忠司著『エゾ地移
住の旅』

北海道移民史を探究する旅(4) 続・
北海道庁時代 移民の圧倒的増
加を狙う 北国 諒星
屯田兵のデザイン考 隠居之義二
付願(明治17年) 山鼻記念会館
所蔵 下敷きは武家スタイル
屯田兵の歴史を知る
—郷土学習の現状と課題 有馬 尚経

◆北海道地域文化研究

北海道地域文化研究会

〒004-8631札幌市厚別区大谷地西2-3-1
北星学園大学 高橋克依研究室気付
TEL011-891-2731 2009年創刊

◇8 2016.3 A4 151p

北海道地域文化学会に通底するも
の 阿部 敏夫
産炭地における芝居小屋の成立と
発展—夕張と我路を事例として
高橋 克依
開拓地における近代通信技術の導
入—電話の普及 中島 宏一
美瑛町・聖台ダム事業の推移と背
景 小泉 昌弘
校誌「郷土読本・郷土資料集・郷
土史・郷土誌等」の今日的課題
—札幌市立小学校の発行実態か
ら 岡田 祐一
授業論：北海道古代史の授業—高
校日本史における「進歩・文明
史観」相対化の試み 加藤 裕明
地域(文化)を活性化する人材の育
成—“出前授業”のよさを活か
して 田山 修三
『北海道の口碑伝説』とは何か 齊藤 大朋
日本領樺太におけるキリスト教史
考(1) 正教徒・カトリック編 鈴木 仁
雨竜原野の草創のころ(2) 卜部 信臣
昔話「鳥呑み爺」の考察補遺 阿部 敏夫
調査報告
ちよつと長めの近況報告 眞壁 智誠

◆北海道立北方民族博物館研究紀要

〒093-0042北海道網走市潮見309-1
TEL0152-45-3888 1992年創刊
hoppohm.org

◇25 2016.3 B5

網走市能取岬西岸遺跡c地点発掘
調査報告 種石 悠

平塚賢智氏製作の木彫り作品につ
いて 内田 昌宏
のりすと2015
—北方研究データベース 笹倉いる美

◆茂呂瀾 室蘭地方史研究 室蘭地方史研究会

〒051-0015北海道室蘭市本町1-3-7 本野里
志(連絡先) TEL0143-23-9864 年3000円

◇50 2016.3 A5 142p 1000円

会誌「茂呂瀾」五十号刊行を祝っ
て 本野 里志
地球岬沖英船砲撃事件を探る 久末 進一
幕末の指導者 吉田松陰 福田 隆三
絵柄貝塚発掘調査抄報 松田 宏介
我此土安穩の碑について 谷中 聖治
室蘭市の歌について—考を 立野 了子
浜田家文書を読む 第3回 野尻 和朗
むろらんの開拓の祖 添田龍吉翁、
泉麟太郎翁、泉忠廣翁(中) 伏木 晃
「石川氏」について—室蘭開拓の
祖添田家が仕えた石川氏 野尻 和朗
紀州花奴歴史検証 続
新資料により歴史見直しに 成田 弘
北海道新道一覽雙六の謎を解く 前澤佐土史
資料紹介 むろらん事始め(2)
編集 成田弘・伏木晃

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会

〒033-0022青森県三沢市字園沢219-211
小比類巻満方 TEL0176-54-2583
2005年創刊

◇12 2016.3 B5 158p 1000円

口絵 岡三沢神楽 物語と狂言に
ついて/さんこあっぱ(狂言)/
安珍清姫(物語) 山本 優
三沢の木「松」に係わる記録と考
察 成田 睦憲

三沢市の城館について 中嶋 正雄
 我が家のルーツを探る 中澤 道男
 谷地頭のむかしばなし 沼田 石
 戦前・戦後の海難事故について 米田 清蔵
 赤沼物語 赤沼 晃
 〔三沢〕地名考 小比類巻みつる
 農業協同組合の移り変わり 馬場 操
 共同研究 三沢の方言〔は行にか
 かわる方言〕 馬場操・地名方言研究会
 「三沢のむかしを語る会」(5) 昔
 の子どもの暮らしと学校生活
 記録「三沢のむかしを語る会」
 〔昔の子どもの暮らしと学校
 生活〕 赤沼晃／馬場操／山本紀雄／
 小比類巻満／及川光男／小比
 類巻文幸／中里豊子／一戸実
 ／藤田光彦／李沢健一
 感想文「三沢のむかしを語る会」
 に参加して 一戸実／藤田光彦／
 及川光男／李沢健一
 会報（第111号～第120号）

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会
 〒036-8560青森県弘前市文京町1 弘前大
 学人文学部日本史研究室内 1956年創刊
 ◇140 2016.3 B5 100p
 日本古代における駅家郷の編成原
 理とその実態(上) 原 京子
 近世大名南部家が向き合った「歴
 史」—歴史の捉え方とアーカイ
 ブズ政策展開の側面から 千葉 一大
 弘前藩の蝦夷地警備と青森妙見堂
 —発見された大星神社の鰐口は
 何を語るか 福井 敏隆
 資料紹介 青森県出土文字資料集
 成—『青森県史 資料編 古代
 2 出土文字資料』以後
 木村淳一／秋元莉絵／佐藤裕香

書評と紹介
 北東北古代集落遺跡研究会編『9
 ～11世紀の土器編年構築と集
 落遺跡の特質からみた、北東
 北世界の実態の研究』 関根 達人
 『青森県史 文化財編 建築』 大野 敏
 『岩木山を科学する』・『岩木山
 を科学する2』 牧田 肇

◆石巻学 荒蝦夷
 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
 大島幹雄方 TEL045-773-4643
 ◇1 2015.12 A5 128p 1500円
 座談会 石巻の「色」を映し出す
 『石巻学』のはじまり
 赤坂憲雄／高成田享／大島幹雄
 インタビュー 離れて思う鮎川 本間 秋彦
 写真でみる石巻 釜谷の祭り 古閑 良行
 復活の鉄路
 全線開通した仙石線に乗る 芦原 伸
 明治30年代の津波におけるフカヒ
 レ製造記録について 佐藤 賢一
 芸人ダメじゃん小出の〈私と若宮
 丸漂流民物語〉 ダメじゃん小出
 聞き書き・あれから4年の石巻で
 「石巻地域学の会」から「石巻
 学」へ 阿部 和夫
 「石巻だより」が伝えたいもの 小野 智美
 地域の歴史を伝える使命を担っ
 て 武内 宏之
 コバルト—レ女川は地元と共に 成田 星矢
 希望のマストと慶長遣欧使節復
 興論 濱田 直嗣
 「ひたかみ」から「石巻学へ」 辺見 清二
 いま大事なものは場をたくさんつ
 くること 松村 豪太
 女川中学校第一回卒業生答辞 木村 竣哉

石巻学創刊に寄せて
 加藤九祚／鈴木景子／つだゆみ
 離島再訪譚 黒木あるじ
 本間家蔵出しエッセー(1)
 明治石巻のラッコ猟 本間 英一

◆東北文化研究室紀要
 〒980-0862仙台市青葉区川内27-1
 東北大学大学院文学研究科 1959年創刊
 ◇57 2016.3 B5 92p
 秋田藩士井口宗翰『寛斎雜記』と
 気吹舎情報 天野 真志
 自治体合併と地域住民自治組織の
 再編—長野市中条地区の事例 永井 彰
 県境を越えたもの、越えなかった
 もの 宮城県丸森町筆甫地区に
 おける放射線対策 山口 睦
 ポックリ信仰研究序説
 ポックリ信仰の諸相 陳 甜
 2015年度土地学北文化公開講演会
 東北の海—歴史と民俗
 「御見抜」と地域社会—仙台藩
 における領主的需要と漁業対
 策 籠橋 俊光
 カツオー本釣り漁の歴史と民俗
 川島 秀一

◆ナジェージダ(希望)
 石巻若宮丸漂流民の会
 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
 大島幹雄方 TEL045-773-4643
 deracine.fool.jp/wakamiya/
 ◇36 (vol.15) 2015.7 A4 32p
 安達裕之講演会「若宮丸の漂流—
 船と航海」(抄録)
 大黒屋光太夫顕彰会「漂流から交
 流へ」
 大島幹雄講演会「ロシアに帰化し

た男たち—新蔵と善六」
 津太夫は語りはじめる(7) 春名 徹
 若宮丸漂流民が生きた時代—小説
 『つまをめとらば』を読んで 木村 成忠
 旗を語る(2) 佐藤三寿夫
 アトカ島とウナラスカ島に上陸し
 た明治時代の漂流民の物語(後
 編) 小林 郁
 牡鹿半島漂流記—HOYAPAIと
 子供たちの紙芝居 太田 和美
 書評 河内牧栄著「愉快! 痛快!
 アラスカ暮らし」 本間 英一
 新刊紹介 ゲオルグ・ハインリ
 ヒ・フォン・ラングスドルフ著
 山本秀峰編訳「ラングスドルフ
 日本紀行」 宮本 立江

◆史の杜 東北大学東北アジア研究センター
 上廣歴史資料学研究部門ニューズレター
 〒980-8576仙台市青葉区川内41
 TEL022-795-3196/022-795-4140 2013年創刊
 uehiro-tohoku.net
 ◇4 2016.4 A4 8p
 古文書のひろば(1) 岩手県—関
 市首藤家文書の目録作成に携わ
 って—文政八年の御用状水損一
 件 室山 京子
 古文書のひろば(2) 九州で西南
 戦争勃発! そのとき田川内藩士
 は?—講演会「近代の戦争と宮
 城」から 友田 昌宏
 史料保全の現場から
 —川崎町佐藤仁右衛門家文書 高橋 陽一
 広げよう、古文書の輪 東北大学
 片平まつり「歴史資料の解説と
 保全—くずし字を書いてみよう
 ~」 高橋 陽一
 Voice—「古文書を読む会」から 高橋 陽一

「古文書を読む会」に参加して 佐々木結恵
この一冊 荒武賢一朗編『東北か
らみえる近世・近現代—さまざま
まな視点から豊かな歴史像へ—』

荒武賢一朗

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会
〒010-0951秋田県秋田市山王7-5-10
秋田文化出版内 TEL018-864-3322
1974年創刊

◇113 2016.3 B5 4p

七草の日 石郷岡千鶴子
秋田の北辰尊皇王碑 新谷 正隆

◆古文書倶楽部 秋田県公文書館
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301
www.pref.akita.ig.jp/koubunsoyo/

◇70 2016.3 A4 2p

御成敗式目あれこれ 鈴木 満
古文書こぼればなし 近世秋田の
国産 ハタハタ干鰯 渡部 紘一

◆置賜の民俗 置賜民俗学会
〒992-1122山形県米沢市万世町梓山1603-3
梅津幸保方 TEL0238-28-5036 1965年創刊

◇22 2015.12 A5 101p 900円

《特集 キリハラライ
～新しい年の祈りを込める切り紙飾り》
民俗文化の継承 梅津 幸保

置賜民俗学会 平成27年度研究集
会 キリハラライ～新しい年の祈
りを込める切り紙飾り シンポ
ジウム コーディネーター 角
屋由美子氏/パネリスト 守谷
英一氏・野口一雄氏・寺島進一
氏・鶴巻哲氏・梅津幸保氏

基調講演

米沢地方の「キリハラライ」 守谷 英一
研究集会レポート

キリハラライ 野口 一雄
一宮神社のキリハラライ 寺島 進一
白山神社のキリハラライ 鶴巻 哲
米沢地方のキリハラライ調査 梅津 幸保
研究集会後の調査レポート 渡邊 敏和
吉野川流域の鉱山地名 菅原 健治
小野春風館について 清野 春樹
米沢市の「獅子頭」とその祭りに
ついて 渡邊 敏和

県指定無形文化財(工芸技術)
「深山和紙」 守谷 英一
広がる草木塔建立 梅津 幸保

島根の民話の伝承について
一出雲かんべの里を訪問して 鈴木 真人
民俗聞き書き(5) ごせ様のこと 梅津 幸保
干支の話 申年について 関谷 良寛
第5回置賜の民俗を訪ねる
秋の研修会 長井市 清野 春樹
平成27年度 第32回東北地方民俗
学合同研究会の開催 梅津 幸保

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299

◇212 2016.4 B5 10p

米沢藩郷村出役
北村孫四郎日記を読む(3) 須崎 寛二
米沢藩の藩札流通に関する一史料 須崎 寛二
岩倉神社はクジ運にも強い 須崎 寛二

第234回学習会から 第九章第4節
養蚕と製糸(上) 江戸時代の養
蚕/明治・大正期

◆フークトープ通信 フークトープ通信社
〒961-0856福島県白河市新白河1-126

ロイヤルガーデン式番館201 山田英明方
2015年創刊

◇7 2016.4 A4 2p

放射性物質を正しく恐れる
一震災から五年を経て 佐野 千絵
フークトープ紀行(7)
信夫山(福島市) 菅野俊之・福島市

◆福島の民俗 福島県民俗学会

〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25
福島県立博物館内 1973年創刊
fukushimafolklore.jimdo.com

◇44 2016.3 A5 98p

2015年度公開講演会 歴史民俗学
の手法—福島県の事例を中心に

小池 淳一
『会津農書』にみる蕨の民具と民
俗 佐々木長生
福島県相双地方の動物飼養習俗
一馬・鮭・鯨・亀 二本松文雄
御宝殿熊野神社祭礼の現状につい
て 合原香須美

四国八十八ヶ所霊場 福島から行
くお遍路4159kmの旅(承前) 相原 達郎
古田武彦と柳田國男 菅野 拓
書評・書誌紹介

赤坂憲雄+会津学研究会編著
『会津物語』 野沢 謙治
金子誠三監修 藤田直一・鍵水
実ほか著『白河』 岩崎 真幸

関 東

◆歴史地理学野外研究

筑波大学人文社会科学部研究科 歴史・人類
学専攻歴史地理学教室
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL029-853-4493

◇17 2016.3 B5 130p

近世～近代の相模国津久井郡牧野
村の集落構成と生業形態

高橋淳/王君香/中西僚太郎
昭和初期の岩手県気仙郡綾里村に
おける津波災害への対応 辻本 侑生
横須賀における米軍向け歓楽街の
形成と変化 双木 俊介
東京吉祥寺における都市観光資源
としての昭和戦前期広告群 高橋珠州彦
近現代茨城県旧筑波郡および谷田
部市街の活況とその後

小口千明/川崎俊郎/高橋淳/三
津山智香/菊凛太郎/木村遼之/
藤野哲寛/王君香/桜木真理子
昭和初期の三浦半島小網代湾にお
ける初声御用邸計画について 武田周一郎

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865栃木県宇都宮市陸町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊

◇99 2016.4 A4 4p

《特集 二十五周年を迎えるにあたって》
二十五周年を機に未来を見据えて
阿部 昭

創立二十五周年を迎えて歴史研へ
の期待と願い 柏村 祐司
三代目常任委員長長時代を振り返る
大嶽 浩良
二十五周年を迎える歴史研へ 千田 孝明

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2
宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊
blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/

◇325 2016.4 A5 68p

幕末期中山道における宿組合取締
役の活動—中山道十宿組合を中

心に 秋山 寛行
 新田郡の滓野郷に、粕川は流れて
 いたかー粕川・早川の変流と、
 新田・佐位郡界地域の歴史景観
 須田 茂
 群馬県指定史跡 名胡桃城址保存
 整備 田村 司
 旧新町紡績所の文化財指定
 新刊紹介 村田 敬一
 若狭徹著 歴史文化ライブラリ
 ー『東国から読み解く古墳時
 代』 前澤 和之
 築瀬大輔著『関東平野の中世ー
 政治と環境ー』 秋山 正典
 ぐんま絹遺産紹介
 富岡製糸場 吉田 和明
 田島弥平旧宅 倉林 潤
 口絵 保渡田八幡塚古墳(高崎市)
 出土の人物埴輪ー群馬県立歴史
 博物館蔵品資料(126) 飯田 浩光

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1980年創刊
 ◇37 2016.3 A5 108p
 戦国期上野国における「領」の成
 立 久保田順一
 近世における渡船場の運営ー利根
 川中渡船場を事例として 竹内 励
 『上野国神社明細帳』の成立と名
 望家 丑木 幸男
 嘉永四年における宿組合の編成と
 機能ー中山道十宿組合を事例に
 秋山 寛行
 近代資料から見る多胡碑ー台石・
 笠石・碑面の問題を中心に 和田 健一
 書評
 築瀬大輔著『関東平野の中世

政治と環境』 久保田順一
 関口功一著『日本古代地域編成
 史序説』 時枝 務

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1979年創刊
 ◇145 2016.3 B5 4p
 「墳墓」の地について 関口 功一
 中之条町の鳥追い太鼓の意味 鈴木 英恵

◆あかんさす さいたま市立浦和博物館館報
 〒366-0911さいたま市緑区三室2458
 TEL048-874-3960 1973年創刊
 www.city.saitama.jp/hakubutsukan.html
 ◇110 (44-1) 2016.3 A4 4p
 江戸時代の村絵図(1) 雨宮 正人
 特別展「江戸時代の三室村をある
 く」展示資料
 ◇111 (44-2) 2016.3 A4 4p
 江戸時代の村絵図(2) 雨宮 正人

◆武蔵野 武蔵野文化協会
 〒362-0011埼玉県上尾市平塚976-5
 加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918
 年4000円 1918年創刊
 ◇355 (91-1) 2016.4 A5 96p
 《特集 武蔵野の近代化(後編)》
 講演会記録 殿ヶ谷戸庭園(随宜
 園)と岩崎家 樋渡 達也
 明治四十三年 東京大水害と荒川
 放水路開削 土屋 信行
 東京都復興記念館資料から見る震
 災復興 住吉 泰男
 東京から埼玉への軍用地の地理的
 展開ー陸軍工廠を中心に 黒川 徳男
 理想の郊外住宅地から帝都防空の
 基地へー変貌する大正・昭和初

期の調布市域 金井 安子
 武蔵野の戦争遺跡ー調布飛行場周
 辺と空襲被災遺跡を中心に 牛田 守彦
 二・二六事件と埼玉の兵士 佐藤 美弥
 川口鑄物の近代
 ー日用品から機械部品へ 三田村佳子
 東京の自動車道の整備ーオリンピ
 ック開催による変貌 市川 宏雄
 説経節浄瑠璃若松若太夫の「武蔵
 大掾」拝領 三橋 広延
 山岡超舟の経歴(補訂) 三橋 広延
 埼玉の近代教育行政について 吉本 富男
 新刊紹介 大館右喜著『学校誕生』
 石井 清文

◆我孫子市史研究センター会報
 〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
 岡本方 TEL04-7149-6404
 www.geocities.jp/abikosisiken/
 ◇170 (通477) 2016.4 A4 12p
 我孫子の社寺を訪ねる(20)
 湖北台・都部新田 近江 礼子
 『久世家など、我孫子地域の城館に
 ついて』を発表して 逆井 萬吉
 ◇171 (通478) 2016.5 A4 12p
 青嵐のなか松戸宿・戸定邸を訪ね
 る 荒井 茂男
 歴史探訪ー松戸宿と戸定邸を訪ね
 る 眼鏡橋について 三谷 和夫
 歴史部会4月の活動 『幕藩体制と
 「内川廻し」水運ー利根川河岸
 成立の必然性』を発表して 石井 英朗
 講演会 市内における最新発掘状
 況「下ヶ戸貝塚を中心に」を聴
 講して 東 日出夫
 古文書日曜部会「水鳥帳簿で読み
 解く江戸後期の手賀沼鳥獣糞ざ」
 清水千賀子

我孫子北まちづくり協議会主催
 「城跡めぐり散策会」に協力
 (報告) 金成 典知

◆印旛郡市地域史料保存利用連絡協議会会報
 〒289-1115千葉県八街市ほ800-3
 八街市教育委員会郷土資料室
 ◇20 2016.3 A4 4p
 平成27年度第1回研修会 「近世佐
 倉牧の研究動向と課題・展望」
 講演要旨 高木 謙一
 各市町の動向 成田市/佐倉市/
 四街道市/八街市/印西市/白
 井市/富里市/栄町
 ◇20別冊 2016.3 A4 4p
 《歴史公文書選別収集基準》

◆神田外語大学日本研究所紀要
 〒261-0014千葉県市美浜区若葉1-4-1
 TEL043-273-1389
 ◇8 2016.3 A5 130p
 第一次長州征伐における薩摩藩
 ー西郷吉之助の動向を中心に 町田 明広
 Modernity as Continuity: The
 Samurai and the Merchants in
 “post-historical” Tokugawa
 Japan Roman PASCA
 神田外語大学附属図書館所蔵 シ
 ーボルト編/伊藤圭介・賀来佐
 之録「日本植物目録」について
 遠藤正治/鳥井裕美子/松田清
 講演会「世界の中の日本 第3回」
 要旨 『アイヌ民族否定論に抗
 する』を通してアイヌについて
 学ぼう！
 マーク・ウィンチェスター/岡和田晃
 講演会「世界の中の日本 第4回」
 要旨 「忘れられた思想家」安

藤昌益から見た日本の現代社会
ロマン・パシュカ
講演会「災害と日本 第5回」要旨
二〇世紀初頭、太平洋をはさん
だ二つの災害—1905～06年、東
北地方大凶作とサンフランシス
コ地震にみる国際関係 土田 宏成
日本研究所 研究プロジェクト紹
介 安藤昌益を再読・再解釈す
る—『自然真営道』から見える
現代社会の課題 ロマン・パシュカ

◆紙魚之友 房総史料調査会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大
学文学部日本史学研究室 1985年創刊
◇36 2016.3 B5 8p
睦沢町諸家文書(2) 大野木朝子
寛政九年鳴戸川堰水論について 市川 超大

◆東邦考古 東邦高等学校考古学研究会会誌
〒275-8511千葉県習志野市泉町2-1-37
東邦大学附属東邦高等学校内
TEL047-472-8191 1963年創刊

◇40 2016.3 B5 360p

《山岸良二先生退職記念号》

2015 印西市榎台遺跡発掘調査
再検討・千葉県内の「方形周溝墓」
(20)『新たな方形周溝墓研究
への提言』 山岸 良二
『習志野』と『竹ノ内』—司馬遼太
郎さんをめぐる遺跡の心象風景

野村 崇
縄文時代における交換論素描 堀越 正行
古代中国から渡来した植物 御影 雅幸
アルタイ諸語類型論導論 菅野 裕臣
千葉県の力石(2) 高島 慎助
考古系造形物の世界 櫻井 準也
千葉県内における縄文時代前期末

葉から中期の炭素14年代測定 小林 謙一
動向の動向
—「日本考古学」の枠組み 五十嵐 彰
房総における古墳時代鉄器生産関
連資料について—市原市川焼台
遺跡・八千代市沖塚遺跡を中心
に 神野 信
船橋市小室台遺跡における近世村
領域の考察 酒巻 忠史
千葉県君津地方における小銅鐸・
鏡出土遺跡について—シャーマ
ニックな人物の存在を推定する
酒巻 忠史

国体論における普遍と特殊

—山田孝雄を中心に 寺崎 信之
講演会記録 習志野騎兵旅団物語
～硫黄島の戦い70周年 栗林・
西両氏を偲ぶ～「太平洋戦争の
経過」 山岸 良二
自分の考古学遍歴(2) 山岸 良二
山岸良二先生 業績目録 東邦考古学研究会
第30号～第39号 目次一覧・合宿
一覧表 東邦考古学研究会

◆成田市史研究 成田市教育委員会

〒286-0017千葉県成田市赤坂1-1-3 成田市
立図書館 TEL0476-27-2000 1972年創刊

◇40 2016.3 A5 138p

行方沼東とその遺された資料
文芸雑誌『金鈴』と行方沼東に
ついて 神尾 武則
石原幸一のいちご園について 矢嶋 毅之
行方家文書にみる選挙資料(1) 中村 政弘
聞き取り 元下総町長・元大柴町
長に聞く 第8代下総町長・可瀬
力氏に聞く 話し手：可瀬力・東郷成通／
聞き手：中村政弘・神尾武則
資料紹介 明治5(1872)年、印旛

郡第7大区1小区の文書管理 小田 真裕
成田山門前町調査研究事業報告
—平成26年度・平成27年度 鈴木 正崇
『成田の地名と歴史—大字別地域
の事典—』編集余話(4)
遠山村宮本区久米について 神尾 武則
文化2年 矢作牧の死人をめぐっ
て 鍋木 行廣
台方大塚古墳(卯塚)の2つの石
枕 高木 博彦
上福田岩屋古墳を改めて問う 小川 和博
成田市史年表稿 2013(平成25)年
解説・矢嶋毅之

成田市関係新聞記事目録

2013(平成25)年
『成田市史研究』総目次(1号～40
号)

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-
404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1980年創刊

◇129 2016.4 B5 16p

石仏見学会参加記 旧本埜村の石
造物を探索 文と写真・田中延志
木更津の石造物(11)
子安塔いろいろ(2) 稲木 章宏
富士講資料紹介
書行藤仏『御大行の巻』 藤平 俊雄
石仏紹介 東総の或る私的な御堂
の石仏について 小西 則子
資料紹介 應永年の石造地藏菩薩
について 早川 正司

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇578 2016.4 A4 4p
沼田船津第七代=船津久五郎(文
測)に連なる人々(2) 伊澤 隆男
文測の日記から(1)
土用干しの記録 郷土博物館
葛飾北斎「富嶽三十六景」顕彰碑
が建立されました
◇579 2016.5 A4 4p
江ノ島青銅鳥居に刻まれた「大千
住」 佐藤 貴浩
文測の日記から(2) 絵師たちの
交流・画本の貸し借り 郷土博物館
沼田船津家第七代=船津久五郎
(文測)に連なる人々 伊澤 隆男

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇337 2016.4 A4 8p

「昭代樂事」を現代文で読んでみ
よう
独自の戦後教育改革意見 日本側
教育家委員会教育改革作成案(13)
保存樹散歩 保存樹が見てきた町
の歴史 綾瀬2丁目 養福寺
クスノキ/北斎千住絵三題・顕
彰碑除幕
「美と知性の宝庫 足立」文晁抱
一の弟子たち展 始まっていま
す 挨拶する玉蟲敏子先生/探
訪 増上寺と周辺
街を歩こう(3) 区画整理記念碑
(下)一足立区東部をめぐって 竹内 秀夫
◇338 2016.5 A4 12p

森鷗外記念館特別展「私がわたし
であること 森家の女性たち
喜美子 志げ 茉莉 杏奴」
終戦直後の日本の教育改革の原点

米国教育使節団の報告書(1) 堀川 和夫
 保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 安養院のクロマツ／千寿本町小学校のクスノキ
 4月8日 花まつり 長円寺・安養寺 写真取材・相川謹之助氏
 メインストリートとバックストーリー 教養講座と史談会総会
 足立史談会総会報告・4月17日・博物館
 西南戦争と花畑出身の喇叭手 西南戦争で戦死、彼の地に葬られていた花畑の小林亀太郎喇叭卒「小林亀太郎碑について」青木昇（「足立史談」第385号 平成3年11月）、「西南戦争戦死者小林喇叭卒の墓発見」小泉健男（「足立史談」第297号 平成4年11月）

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
 〒183-0026東京都府中市南町6-32
 TEL042-368-7921 1987年創刊
 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇115 2016.3 A4 8p
 表紙 カイコがつくった風景(4)
 良い繭ができるように祈る 佐藤 智敬
 展示会案内 企画展 物見遊山か、お参りか～府中から出発する江戸時代の旅～ 花木 知子
 最近の発掘調査 古代斜行道路の北東延長部を発見？ 幸町二丁目 湯瀬 禎彦
 『県居井蛙録』にみる江戸時代の庶民の生活(4) 麻疹と疱瘡 花木 知子

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
 〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7

◇408 2016.3 B5 26p
 『里山案内』黒山の略図を読む 小泉 重光
 奥武蔵・秩父の獅子(62)
 一上唐子、奉納三百年の舞 関口 洋介

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
 〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
 TEL03-3355-4188

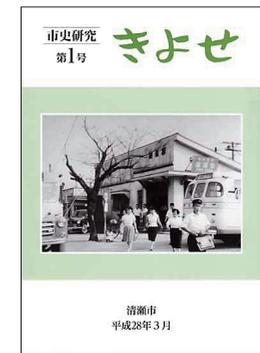
◇201 2016.3 A4 8p
 催事スケッチ 亀崎潮干祭 山車を海浜に曳き下ろす勇壮な初夏の祭り 愛知県半田市亀崎町
 5月3日～4日 写真・文 渡辺 良正
 催しものレポート 第25回関西支部 秋季学術大会 飯塚 好
 儀礼文化講座（平成27年度第5回）
 茶道「風炉から炉への移り変わり～名残から炉開き～」講師：岩田宗瑛
 儀礼文化講座（平成27年度第5回）
 華道「古流松藤会の生け花を学ぶ」 瀧口 智子
 儀礼文化講座（平成27年度第6回）
 くらしの民俗学「小正月を彩るツクリモノの世界」講師：今石みぎわ

◆記録と史料
 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
 〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
 埼玉県立文書館内 TEL048-865-0112
 1990年創刊 http://www.jsai.jp
 ◇26 2016.3 B5 108p 1200円
 特集 戦後70年
 アーカイブズの取組み
 特集にあたって 広報・広聴委員会
 沖縄県公文書館における戦争関連記録の保存と継承一開館20

年の蓄積 仲本 和彦
 徳島県立文書館による戦後70年に伴う企画事業 金原 祐樹
 自治会文書にみる戦後の記録—戦後70年を機にした展示と資料 鳥養 圭美
 「第2回全国大学史展 学生たちの戦前・戦中・戦後」の開催
 全国大学史資料協議会東日本部会
 第2回全国大学史展実行委員会
 震災の経緯と教訓を未来に伝えるための阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターの取組み 深井 美貴
 記録の媒体・材料・方法からみた戦後70年—歴史学・古文書学と資料保存の視点から 小島 浩之
 MLA 連携における学芸員の役割—小田原市立図書館での実務経験から 鈴木 一史
 アーカイブズネットワーク
 ホームページ「福島県双葉町の東日本大震災関係資料を将来へ残す」開設 白井 哲哉
 常総市公文書レスキュー緊急報告 永井 博
 武蔵野ふるさと歴史館開館によせて 田川良太／栗原一浩／高尾善希
 高松市公文書館開館 三好久美子
 大島漁協文庫設立へ 窪田 涼子
 書評と紹介
 久保亨・瀬畑源著『国家と秘密 隠される公文書』、安藤正人・吉田裕・久保亨編『歴史学が問う 公文書の管理と情報公開』 渡邊 健
 上島有著『中世アーカイブズ学序説』 長谷川 伸

国文学研究資料館編『幕藩政—アーカイブズの総合的研究』 青木 祐一
 木部暢子編『災害に学ぶ 文化資源の保全と再生』 石原 凌河
 日本図書館情報学会研究委員会編『情報の評価とコレクション形成』 坂口 貴弘

◆市史研究きよせ
 〒204-8511東京都清瀬市中里5-842
 清瀬市企画部市史編さん室
 TEL042-492-5111
 ◇1 2016.3 A5 72p
 発刊にあたって 渋谷金太郎
 市史編さんに向けて 根岸 茂夫
 長命寺開山感誉存真に関する考察—浄土宗系史料の検証を中心として 小川 雄
 清瀬の昔をきく 団体代表委員・専門部会情報交換会
 きよせ懐かし写真館
 清瀬年表
 平成27年度専門部会活動報告（古代・中世部会）
 市史編さん覚書



*清瀬市は1973年に市制施行を記念して『清瀬市史』を刊行したが、それから40有余年を

経過し、内容の見直しとその後に刻んだ歴史の整理を行うため、昨年度新たに市史編さん委員会を立ち上げた。委員会は研究者に加え、団体代表委員として市文化財保護審議会、市郷土博物館協議会、清瀬郷土研究会、市郷土博物館友の会から各1名と、公募市民3名で構成される。公募市民委員というのはユニークで、編さん目的に、「市の歴史を明らかにしていくことを通して、市民の皆さんが、地域に対する理解、愛着を強め、地域への誇りをより一層育んでいけるよう目指す」と謳ったことの意欲の強い表れと感じられる。委員長の根岸茂夫氏(國學院大學教授)は、編さんの柱の一つとして、戦争と女性史を上げている。戦争は悲しさや責任に目をそむけないこと、女性史はよくありがちな虐げられた女性像ではなく存在としての豊かさに目を向けたという。事業は2024年までの予定としている。大いに期待したい。

◆じゃんぴん NPO法人歴史資料継承機構 NEWS LETTER

〒198-0063東京都青梅市梅郷3-863-2
西村方 rekishishiryomo

◇19 2015.7 A4 4p

南伊豆町伊浜肥田家文書調査について 岡村 龍男

NPO法人歴史資料継承機構じゃんぴん 成果の地域還元について 佐橋冠左の数寄の世界／茨城史料ネットとの協働／千葉県我孫子市安島家文書／南伊豆を知ろう会

昭和のくらし博物館蔵戦争関係資料

保存・調査活動に参加して 松本 美紅
第14回例会「自然史資料を守り・伝えること―水戸市立博物館の活動から―」 加唐 亜希

神城断層地震(長野県北部地震)レ

スキュー 武子 裕美

◇20 2015.12 A4 4p

和宮も休息した芦田宿本陣の作業に参加して 船田 一恵
ありのままを伝えること、遺すこと 飯島 正行
プロのまなごしに触れる 毛塚 万里
「茨城県石岡市一色家文書の世界」報告 佐々木 啓
埼玉県加須市加藤家文書所在確認調査について 西村慎太郎
千葉県野田市小林家文書所在確認調査について 武子裕美／西村慎太郎
報告書「南伊豆を知ろう会 Vol.2」刊行

◆城郭史研究

日本城郭史学会(発売:東京堂出版)
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇35 2016.3 B5 146p 2700円

天守台に関する考察
―それらの踏査実測を通じて 松岡 利郎
戦国期の築城と夫役―普請工事に
おける人夫徴発について 西ヶ谷恭弘
山形城「取締め」にみる江戸幕府
の城郭統制 久保田正志
江戸幕府の古城統制に関する一考
察―奥羽の古城と寛永諸国巡見
使の城館調査 神山 仁
東アジアと西海の城
―小佐々水軍城を中心として 小佐々 学
紀伊田辺城を新発見の絵図から探
る 水島 大二
千葉県いすみ市所在の正木氏の陣
所について 大竹 正芳
宮城県の城郭探訪記

―前川本城・上楯城・宮床所 小高巴季彦
城郭史関係論文目録 阿部 和彦

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇93 2016.4 A4 6p

石積づくりの武蔵小倉城
―北武蔵の見学会より
荻原一青と尼崎城―「城郭画」の
原点とその成果から 西ヶ谷恭弘
江戸城石材丁場址が国史跡へ／計
報 松本諒士氏ご逝去
聚楽第に大規模外堀が存在か―地
表面波探査で天守位置も確認
各地の城郭研究会活動から／日本
城郭史学会活動から

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066東京都世田谷区成城6-1-20
TEL03-3482-1181 1977年創刊

◇39 2016.3 A5 148p

製鞆革業を支えるもの―東京都墨
田区東墨田を事例に 岡田 伊代
もうひとつの態―人間の自然 木下 聖三
但馬君氏と但馬国の有力氏族 紅林 怜
享保十三年「大島規模帳」に関す
る考察―薩摩藩の奄美諸島支配
について 箕輪 優
吉原遊郭における客と客 高木まどか
『吾妻鏡』における八幡神使とし
ての鳩への意味付け 池田 浩貴

◆杉並郷土史会会報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊

www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇256 2016.3 A4 8p 400円

乗合馬車 木村 輝郎
第535回例会記

土器にドキドキ 後藤 理加
縄文土器の修復 石原 道知

◇257 2016.5 A4 10p 400円

荻外荘国史跡指定記念講演会 近
衛家陽明文庫について 陽明文
庫長 名和修先生
昭和初期の高級下宿建築スタイル
を碧雲荘と西郊ロッキングに見
る 碧雲荘の魅力 松本 裕介
太宰の下宿「碧雲荘」由布院で再
生 編集部
ガンダムと郵便ポスト 井口 俊明

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9 北村国男
方 TEL03-3844-2008 1987年創刊
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/

◇59 2016.4 A4 20p

東京スカイツリー雑話 西原 文隆
隅田川大学公開講座 講演会
「東京・大阪 水辺事業交換講座」
大阪側:テーマ「水都大阪のま
ちづくり―北浜テラスを中心と
して」講師:嘉名光市氏・佐久
間康富氏／東京側:テーマ「隅
田川を中心とした水辺のにぎわ
い創出について」講師:岡上樹
氏

隅田川大学公開講座 講演会 水
都大阪のまちづくり―北浜テラ
スを中心として 嘉名光市／佐久間康富
隅田川大学公開講座 講演会 隅
田川を中心とした水辺のにぎわ
い創出について 岡上 樹
時評 行政が担う未来への予知力

高松巖／阿部彰

隅田川大学公開講座 「舟運が結ぶ大江戸・小江戸—新河岸川を中心に」 講師：岡部恒雄

隅田川流域クリーンキャンペーン 実行委員会 10周年記念シンポジウム『隅田川の歴史・文化・環境を語るつどい』 篠田 裕
佐藤武レポート 佐藤 武

隅田川大学実践俳句講座 「俳句を作ろう」 講師：岡部恒雄

芥川龍之介『大川の水』との出会い 小堀 郁恵

交流コーナー

紫川を愛する会「武良前 むらさき通信」第123号、2015年12月号 衛藤 修一

四万十川中流域と隅田川水系の写真展開催 磯部 勝

会員便り 「語り継ぐ 北区の水害」～北区の岩淵水門竣工100周年に向けて、90周年の今（でしよ）できること 馬場 永子

新刊のご紹介 村松昭さんの絵巻「大井川 散策絵図」

◆すみだ郷土文化資料館年報・研究紀要
〒131-0033東京都墨田区向島2-3-5
TEL03-5619-7034 2015年創刊
www.city.sumida.lg.jp/sisetu_info/siryou/kyoudobunka/

◇2 2016.3 A4 18+63p
〈研究紀要
特集「シリーズ 終戦70年平和祈念事業」
東京空襲研究と米国资料
—松浦総三を中心として 石橋 星志
講演録 教育紙芝居のひろがり 浅岡 靖央
史料翻刻
大澤家文書のなかの「中世」文
書—土岐持頼と大澤次左衛門

福澤 徹三

弘前藩津軽家江戸藩邸日記（宝永元年七月） 古文書講座第二部・福澤徹三



*関東大震災、東京大空襲と二度もの大禍を経験している墨田区は、1989年に世界の平和とひとびとの福祉向上の実現に努力することを誓って、「墨田区平和福祉都市づくり宣言」をした。戦争の悲惨さや鎮魂の思いを次世代に伝えていくことは責務であるという。立派なことだ。終戦70年目の昨年は、観光課、文化産業課、生涯学習課が連携し、年間をとおして様々な事業を展開した。すみだ郷土文化資料館でも、「東京大空襲と失われた命の記憶」、「教育紙芝居の誕生」「東京大空襲から戦後復興へ」と題する3本の企画展、関連する講演会、空襲体験者ギャラリートーク、さらに小・中学校での平和学習支援などを行った。本号では、初期の空襲記録運動・空襲研究を牽引した松浦総三と米軍資料の収集・活用の経緯を検討した専門員石橋星志の論考、教育紙芝居についての白百合女子大学教授浅岡靖央氏の講演録、及び、グラビアでその紙芝居画像を収録する。石橋氏によれば、関係資料は徐々に公開、利用できるようになってきているが、歴史的事実の解明はそれほどに進んでいないという。原爆同様に、空襲体験者も急激に減少している。資料整理、調査、

研究が急がれる。

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
www.l1.ocn.ne.jp/~oinari/
◇234 2016.3 B5 35p
我孫子市における武州三峯山信仰 近江 礼子
渡良瀬川遊水池周辺の水神・洪水
記念碑と洪水の記憶—巴波川畔
・恩川町 久野 俊彦
セーノカミ・塞の神・祭神・歳神
・妻野神—東京都町田市域の石
造道祖神塔神名表記 畠山 豊
阿武隈山地のなぞ 大島 建彦
静岡県の天狗像 高橋 成

◆全日本郷土芸能協会会報
〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
三河台ハイツ206 TEL03-6434-9434
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
◇83 2016.4 A4 24p
諏訪大社の御柱祭り 県指定無形
民俗文化財 撮影：萩原弘幸氏
東日本大震災・郷土芸能復興支援
プロジェクト 東日本大震災か
ら5年によせて
報告 15回目を迎えたかながわ伝
統芸能祭 地芝居2016
15年目の美濃歌舞伎伝承教室 小栗 幸江
会員紹介 小鹿野歌舞伎保存会
堀口武治／山口清文
地芝居あれこれ(22)
「小鹿野歌舞伎の公務員さん」 蒲池 卓巳
青森県下北半島「佐井村漁村歌舞
伎鑑賞ツアー」 吉澤 昭正
地芝居見聞(20) 「柳橋歌舞伎

復興支援三春町公演」 「第10回
信州農村歌舞伎祭」 北河 直子
会員紹介 津軽三味線 緑の会 平野 緑城
空白の沖縄芸能史(12)
嗚呼！我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
会員紹介
相模原市民俗芸能保存協会 活
動報告 第36回「相模原市民
俗芸能大会—伝えていきたい
農村芸能—」を終えて 加藤 明
三本柳さんさ踊り保存会 藤沢 清美

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇290 2016.4 A4 2p 100円
『人倫訓蒙図彙』に見る いかか
わしき生業 大原神子／御優婆
勧進／淡島殿／仏餉／八丁鐘／
歌念仏／念仏申／鉢敲／門説教
◇291 2016.5 A4 2p 100円
女太夫と鳥追い
『人倫訓蒙図彙』に見る いかか
わしき生業 陰芝居／二十三夜
／はりがね売り／いたか

◆多摩地域史研究会会報
〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1
梶原方 1991年創刊
tamaten.web.fc2.com
◇119 2016.3 B5 8p
第90回例会報告 「縄文時代中期
の大集落 下野谷遺跡を歩く」
参加記 長濱 一
西多摩郡日の出町大久野とその周
辺の卒塔婆生産 池田 昇

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方/〒352-0011埼玉県新座市野火
止4-8-43 袖須紘一方 FAX048-479-7490
tias3.web.fc2.com

◇117 2016.3 A4 6p

金子名誉顧問の祝辞(初代会長、
平井副会長代読) 金子 六郎

研究大会有馬純雄「辰野金吾と元
帝国製麻本社ブルー日本橋の赤
煉瓦」、吉田修「ブルネッレ
スキの創造—古代と近代をつな
ぐものづくりの知恵—」

当学会20周年記念講演会 テーマ
産業遺産「はたや記念館ゆめお
ーれ勝山」について 講師：山
本一郎氏 平井 東幸

新刊紹介 国立科学博物館・産業
技術史資料情報センター監修、
牧童舎・水島吉隆・坂茂樹編著
『日本のものづくり遺産—未来
技術遺産のすべて—』 多田 統一

講演会「明治の陸運改革と全国的
輸送網の成立」講師：玉井幹
司 袖須 紘一

書籍紹介 谷中のご屋根会編著
『谷中の「のこぎり屋根」』 平井 東幸

茨城県常総市の赤煉瓦建築物(6)
「豊水橋三代橋台」文・写真 八木 司郎

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊

◇360 2016.4 A4 4p

昭和史雑感 昭和天皇と將軍達
(25) 真崎甚三郎(22) 鎌田 茂男
練馬の城を往く(15) 谷原水川神

社の砦(推定説)(練馬区高野台
一丁目附近)
ふたたび勝田次郎について(2)—
四谷西念寺勝田次郎の墓碑銘 日向康三郎

◆ねりまの文化財

練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文
化係 〒176-0012東京都練馬区豊玉北6-12-
1 TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇97 2016.4 A4 6p

平成27年度新規の登録文化財 武
蔵大学大講堂/武蔵大学3号館
/阿弥陀堂の半鐘/高松の御獄
講関係資料/永享八年の夜念仏
板碑

練馬区指定文化財一覧/練馬区登
録文化財一覧

◆ばいす 北区飛鳥山博物館だより

〒114-0002東京都北区王子1-1-3
TEL03-3916-1133 1998年創刊

◇36 2016.3 A4 8p

春期企画展「糸と光と風景と—刺
繡を通してみる近代—」

博物館はメディア (鈴木)
大地・水・人 学びのきずな 増田 由貴

特集「コン吉のへえ〜そうなん
だ!飛鳥山」

Q1. そもそも「飛鳥山」って山
なんですか? (中野)

Q2. 「飛鳥山」の名前の由来っ
なんですか? (石倉)

Q3. 公園内に石碑はいつくある
んですか? (田中)

Q4. 公園内にサクラの木は何本
あるんですか? (増田)

Q5. 博物館ではどんなことをし
ているんですか? (安武)

秋期企画展「都電残照'67—ある
カメラマンが見届けた都電ラス
トラン—」 (中野)

学芸員の本棚 『関東大震災の社
会史』北原糸子著 (田中)

心ふるえる展示体験「建築家 フ
ランク・ゲーリー展 “I Have
an Idea”」 (山口)

写真に見るあの日あの時 まほろ
しの北区立赤羽自動車教習所 (石倉)

博物館いろは歌留多 「区内にて
発見夢見て遺跡掘る」 (中島)

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
TEL045-481-5661 年5000円
ming-gakkai.com

◇153 2016.4 B5 102p

民具の形に対する構造力学的考察
の試み—民具形態の力学的合理
性(力学性)について

久保光徳/北村有希子/田内隆利
日本の網漁具の分類について 真鍋 篤行

伯州倉吉産を中心とした千歯抜き
の穂長による製作年代の推定に
ついて 櫻村賢二/関本明子

近世農書から見た農具の使用事例
そのⅢ 扱箸・千歯 桂 眞幸

第145回日本民具学会研究会報告
京屋銘唐箕の検討

—いわゆる京屋系の交通 渡辺 悠介
讃岐唐箕の京屋度チェック 織野 英史

発表 芝崎浩平氏「千葉の鍛冶
—鎌と鋏—」鎌研究について

/長野県上水内郡信濃町鍛冶
中村家鍛冶資料について 塚原 順子

書評 河野通明著『大化の改新は

身近にあった—公地制・天皇・
農業の革新—』 鈴木 通大

展示批評 氷見博物館特別展「と
やまの船と船大工—船が支えた

人びとのくらし—」 織野 英史

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会

〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内
TEL03-3203-4141 年6000円 1985年創刊

◇60 2016.3 A5 112+22p

比婆荒神神楽の時空間
—神楽場の民俗誌 鈴木 昂太

高根県浜田市における江戸時代か
ら明治期にかけての神楽事情 藤原 宏夫

被災地における民俗芸能の役割—
黒森神楽に対する宿主の感情を
通して 中村 光江

新潟県妙高市長沢地区の祭り「よ
みや」で用いられている明笛 野村 憲一

特別企画：無形文化遺産特集
文化財保護制度・ユネスコ無形
文化遺産を通してみる「大日堂

舞楽」—その制度的展開と主体
との関係に着目して 伊藤 純

書評
野村伸一著「東シナ海を取り巻
く祭祀芸能の調査・研究」に

関わる一連の研究 高山 茂
姫路市教育委員会編『播磨国総

社三ツ山大祭調査報告書』 鬼頭 秀明

和歌山県教育委員会編『高野山
周辺地域民俗文化財調査報告

書』 鈴木 正崇

書籍紹介 橋本裕之著『震災と芸
能—地域再生の原動力』 鈴木 昂太

民俗芸能研究文献目録
平成26年 伊藤純・松岡薫編

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会

〒150-0011東京都渋谷区東4-10-28
国學院大學文学部 花部英雄研究室
TEL03-5466-0224 1971年創刊
mukaden.tiyogami.com

◇34 2015.3 A5 165p

「小野小町の箏」考 小堀 光夫
「天人女房」に表れる栽培植物
—難題型を中心に見た場合 中村とも子
広島県尾道市三成の浦島伝承(1)
—二種の由来 山田 栄克
身体欠損のある馬の怪異
—首切れ馬を中心に 永島 大輝
恋するまじない 瀬戸口真規
黒の表象—「伴大納言絵巻」の涙
と闇の表現 内藤 久義
植民地朝鮮童話集における改作
に対する実証的な研究 金 廣 植
機織りにまつわる伝承における新
しい先行研究をめぐって—技術
と伝承の関連 吉田 裕美
生月島かくれキリシタンにおける
聖地「中江ノ島」 廣瀬千香子
資 料
佐藤さく壺の昔話 花部 英雄
栃木県下都賀郡岩舟町静和の世
間話と民俗知識 永島 大輝
飛鳥の祭礼 清野 知子
高校生から聞いた都市伝説、怖
い話、不思議な話 吉田 裕美

◇35 2016.3 A5 164p

理科系の伝説研究—武田久吉「大
磯の虎御石」をめぐって 小堀 光夫
明治期に欧文翻訳された日本昔話
の相互関連について—『扶桑茶
話』を中心に 中村とも子
「一つ目のダンジュウロウ」考
—口承文芸の中の妖怪 伊藤 龍平

〈鬼面〉に関する口頭伝承から考
える〈酒典童子〉像—『伊吹山
(大江山以前)酒典童子』を中心
に 西座 理恵
鳥女房の機織りの終結 吉田 裕美
『諸国百物語』論
—「後妻うち」を中心に 塚野 晶子
飛鳥の百合若伝説 清野 知子
沖縄の津波伝承「もの言う魚」の
語りに見る神との関わり 北村 規子
知恵を与えるのは誰だ? 瀬戸口真規
報告 秋田県湯沢市の民俗 松田 采葉
資 料
佐藤さく壺の昔話・伝説・世間
話 花部 英雄
「聞いてみた」学校の怪談・俗信
永島 大輝
新刊紹介 野村敬子・霜林宏道編
著『間中一代さんの栃木語り』 関根 綾子

◆洋学史研究 洋学史研究会

〒116-0014東京都荒川区東日暮里3-12-17
松本英治方 TEL03-3891-6482 年5000円
1984年創刊

◇33 2016.4 A5 142p

勝海舟とキンスベルゲン 片桐 一男
青山学院所蔵の切支丹高札
付、関係史料 清水 紘一
幕末期の洋書検閲の記録『開版見
改元帳』の考察 三好 彰
箱館詰の通詞・通弁御用出役の身
分と待遇について 江本 嘉敏
研究余滴
奥州盛岡藩にあった長崎諸役所
絵図帖 大井 昇
高島秋帆の腹心、中島左衛門
について 松尾龍之介
書評 片桐一男『知の開拓者 杉

田玄白「蘭学事始」とその時
代』、片桐一男解説・解説『米
沢藩医堀内家文書』解題編・図
版編、片桐一男『伝播する蘭学
江戸・長崎から東北へ』 岩下 哲典
15分トーク記録
人物史の問題① 勝海舟 片桐 一男
1『知の開拓者 杉田玄白「蘭学
事始」とその時代』(2015年1月
30日刊)、2『米沢藩医堀内家文
書』(2015年3月27日刊)、3『伝
播する蘭学 江戸・長崎から東
北へ』(2015年3月30日刊) 連続
刊行のわけ 片桐 一男

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011東京都文京区千石2-42-7 田中
寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp

◇41 2016.3 B5 68p 2000円

明治後期三等郵便局長の活動内容
—福岡県甘木郵便局長の事例 田原 啓祐
「フランス横浜郵便局」研究史(3)
松本 純一
資料紹介
郵政博物館資料紹介(21) 音声
を郵便で送る「声の郵便」 井上 卓朗
旧刊紹介(15)
『通信協会75年史』 鈴木 克彦
イギリス郵便史の文献寄贈につ
いて 星名 定雄
駐日フランス陸軍顧問団宛に送
られていた横浜の英字新聞 松本 純一
近刊紹介
立山一郎『肥後国熊本郵便局に
みる明治前期の郵便』 近辻 喜一
内藤陽介『英国郵便史 ペニー
・ブラック物語』 星名 定雄

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇245 2016.4 A4 28p

新名学園創立者 新名百刀の軌跡
宇佐美ミサ子
小田原の郷土史再発見 西国で継
承された北條氏と伊勢氏 石井 啓文
小田原の小西薬舗 話し手：小西
正樹さん
絵 田中豊／聞き書き 青木・松島
大久保宗家六代忠増第三番目の夫
人、寿昌院(喜与姫) 野村 武男
小田原桐座について(5)
—由緒書の検討を中心に 荒河 純
片岡日記 昭和編(6) 昭和2年7月
片岡永左衛門
小田原史談会セミナー「小田原を
掘る」要旨 (山口)

◆開国史研究 横須賀開国史研究会

〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市政推進部文化振興課内
TEL046-822-9478 年1000円 2001年創刊

◇16 2016.3 A5 170p 800円

《横須賀製鉄所(造船所)創設150周年
記念特集号》
口絵解説
『日本名勝図絵 観音崎』 山本 詔一
『開国史研究』発刊にあたり 山本 詔一
総会記念講演 横須賀造船所再考
—地元出身者の就業に注目して 鈴木 淳
開国史講演会 幕府の運命、日本
の運命—小栗上野介の日本改造
と横須賀製鉄所 村上 泰賢
開国史研究講座講義録

海軍のマザーランド・横須賀の歩み 田中 宏巳
 私の開国史研究 加藤 祐三
 横須賀製鉄所をめぐる柴田使節団のフランスでの活動 塚越 俊志
 山高左太夫考—ニセ横須賀奉行騙り事件の横須賀製鉄所伝習生 齋藤 純
 横須賀造船所で製造された我国初の陀螺水車 白石 健一
 『横須賀繁昌記』を読む(5) 山本 詔一
 横須賀製鉄所(造船所)関係文献目録 有馬正泰／齋藤純
 「古文書を読む会」の記録(2) 深谷 進

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
 NPOセンター鎌倉気付メールボックス26
 ◇32 2016.4 A4 2p
 『大街道日記』の人びと 曾原 糸子
 紹介 『慰安婦問題と女性の人權』 齋藤俊子・小田ハツ・川上恭子
 (いたばし女性史研究会) (多和田)
 『十二所 小長井日記』を読む(2) (高階)
 大分県、白杵の図書館 (高階)
 ◇33 2016.5 A4 2p
 聞き書きの魅力 本多 順子
 『十二所 小長井日記』を読む(3)
 「御成遺産」建築の講演会を聞いて

◆市史研究 横須賀 横須賀市総務部総務課

〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
 TEL046-822-8150 2002年創刊
 ◇15 2016.3 A5 161p 500円
 《特集 戦後七〇年》
 戦後七〇年を特集するにあたって
 手記 戦時・兵士・銃後・生活 空襲 鈴木 恒生

海軍の思い出 大内 崇司
 父島の残像 北澤 慶寛
 私の大東亜戦争
 特攻兵器⑩について 鈴木 晃
 戦争について 会田みよ子
 戦後家七〇年の手記 黒澤 近子
 記憶に残る音、音、音／銃後の守り 漆戸 悦子
 手記 学徒勤労働員 山田 松子
 学徒勤労働員 松方 尚義
 私の学徒勤労働員 漆戸 悦子
 勤労学徒と軍港 寺門 みや
 艦砲射撃にあって
 手記 疎開・学童(縁故・集団)疎開

我が家の大東亜戦争 鈴木 なみ
 学童疎開のころ 角井 桂子
 学童疎開中の空襲体験 鈴木喜久枝
 私の昭和史 重田 とり
 二度の縁故疎開 大工原乃里子
 戦争のこと 和光 克子
 戦争とは 長島 君江
 戦後七〇年 増子 武教
 二つの駅 安藤 寿子
 手記 終戦 太田 三郎
 東京湾頭の白旗 橋本真智子
 平作町三六一〇番地 三縄 靖恵
 終戦の思い出 渡部 治
 馬堀引揚援護局—MP 野坂 光子
 戦後七〇年の手記 屋代 忠昭
 私の戦争体験

市民が語る横須賀ストーリー

教員生活と山中町空襲 —鈴木千代子さんに聞く
 海軍工廠と職工生活 —鈴木正年さんに聞く
 海軍技術士官の南鳥島 —渡辺栄さんに聞く
 特集のむすびにかえて

協力者・資料提供者
 軍港都市の中の陸軍
 一要塞砲兵連隊と旧豊島町 高村 聰史
 史料紹介 『新横須賀市史』資料編
 古代・中世拾遺史料二 真鍋 淳哉
 表紙写真の解説 横須賀市立馬堀小学校構内に立つ「重砲兵発祥地」碑

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告

〒254-0041神奈川県平塚市浅間町12-41
 TEL0463-33-5111 1977年創刊
 www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/
 ◇39 2016.3 A4 94+26p
 相模川流域のジオサイトの地質学的意義と博物館活動—地域博物館における自然史分野の役割 森 慎一
 相模平野地域における縄文海進期以降の古地理の変遷 森慎一／野崎篤
 米軍のコロネット作戦に対する第53軍の本土防衛—二宮町における特殊地下壕Ⅳ 市原 誠
 徳川家康由緒・伝承と地域 —大住郡・平塚市域を事例に 早田 旅人
 秦野市堀山下の旧家に残されていた九八八枚の御札 浜野 達也

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方方 1980年復刊
 shounankouko.jimbo.com
 ◇143 2016.4 B5 24p
 ひとり、京都 須田 英一
 心の考古学まで(12) 前方後円墳の起源を求めて(4) 古要 祐慶
 石神遺跡の調査を見学して 伊藤 郭
 創立35周年記念講演会に参加して 押木 弘己

湘南考古学同好会“35周年記念祝賀会”に参加して 菅野 博仁
 11月臨時例会“晩秋の猿島巡検” 伊藤 等
 『第33回藤沢市遺跡調査発表会』及び『第16回藤沢市遺跡調査速報展』を見学して 金馬 義郎
 《かながわの遺跡展》「縄文の海 縄文の森」見学記 原 信之
 2014年藤沢市・隣接市町村考古学関係主要出版物一覧 伊藤郭・編
 追悼文 竹澤嘉範氏の事 古要 祐慶

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会 〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
 井上弘方 1980年創刊
 ◇76 2016.3 A5 24p
 聞き取り 戦時下の銭湯「中嶋湯」 話し手：加藤寛
 交流報告
 戦災・空襲記録づくり第31回東海交流会参加記 矢野 慎一
 第16回米軍資料の調査・活用に関する研究会と全国連絡会議 第45回東京大会参加記 矢野 慎一
 戦後七〇年の夏 「傷痍軍人箱根療養所」跡を訪ねて 井上 弘
 大井町郷土歴史講座の講演報告 香川 芳文
 本会を紹介した新聞記事 朝日新聞 2015.5.10／神靜民報 2015.7.29／毎日新聞 2015.8.10／日本経済新聞 2015.8.13
 書評 井上弘著『知られざる小田原地方の戦争』を読んで 北川 幹夫
 書籍出版のご案内 井上弘著 小田原ライブラリー23『知られざる

る小田原地方の戦争』／書籍紹介 矢野慎一著『アジア太平洋戦争』最近の『戦争と民衆』目次 (第69号～第75号)

◆治水神・禹王研究 治水神・禹王研究会 〒258-0026神奈川県足柄上郡開成町延沢 110 大脇良夫方 年3000円 2014年創刊 ◇2 2015.4 A4 72p 1203円 禹王遺跡の国際的分布と大禹謨碑 植村善博／木谷幹一 大禹ノミクス 王 敏 「大禹謨」西嶋八兵衛はなぜこの三文字を選んだのか 北原 峰樹 「禹王さん」 遠 志保 白川静が画いた夏王朝と禹王 大橋 利彦 魚吹八幡神社 長松屋台の禹王 諸留 幸弘 禹王遺跡レポート 岸本君治水碑(新潟県) 木谷 幹一 唐樋溜導水遺蹟碑(栃木県) 木谷 幹一 大塚邑水路新造碑(山梨県) 竹林 征三 禹之瀬可道整正事業竣工の碑 (山梨県) 原田 和佳 禹泉用水・禹泉江(新潟県) 木谷 幹一 紹介 禹王(文命)に関する文献 事務局 追悼 賀川督明氏を偲んで 大井 みち ◇3 2016.4 A4 104p 1389円 禹王地名の研究意義—伊達市禹父山および倉敷市禹余糧山の事例 植村 善博 藤巻勘之丞の峠道改修事業を大禹を偉業に擬えた「関田嶺修路碑」 若森 慶隆 「大禹謨」再発見後70年一点から線、線から面へ、そして過去から未来へ 北原 峰樹 禹王研究の歩みと未来展望 露木 順一

遠賀堀川における一田久作の業績について—治水神・禹王との関連性 古賀 邦雄 会津藩校日新館親章先生を探し求めて 宮田 勝 拓本ってどんなもの 河合 莊次 禹王遺跡レポート 大町新溝碑(山形県) 木谷 幹一 渡良瀬川治水紀功碑(茨城県) 植村 善博 小久保喜七君頌徳之碑(茨城県) 木谷 幹一 新渠之碑(埼玉県) 植村 善博 奉納北越治水策図解(新潟県) 竹林 征三 大川三島神社格天井漢詩(静岡県) 今井 一江 金森吉次郎翁寿像記(岐阜県) 木谷 幹一 鰐石生雲詩碑(山口県) 浅田 京子 宗像堅固墓碑(熊本県) 鮎田 義博 日本禹王遺跡一覧 禹王遺跡認定委員会

◆地名と風土 日本地名研究所 〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106 1984年創刊 chimei.people.co.jp ◇10 (新3) 2016.3 B5 127p 1620円 巻頭言 日本地名研究所の新体制に託す 谷川 彰英 近世の墓石に刻まれた地名—城下町松前の近世墓標調査から 谷川 章雄 アイヌ語地名と和語地名の境界を探る 太宰 幸子 地名の消滅—北日ヶ窪、南日ヶ窪 太田 鈴子 越後と信濃の田切地名 長谷川 勲 特集 伊那谷の地名と風土 伊那谷の歴史と風土 原 董 飯田・下伊那の古代の様相 岡田 正彦 大平街道と大平集落 清水 迪夫

街道と伊那谷の歴史・文化 伊坪 達郎 天竜川の新田と筏 今村 理則 遠山が育んだ歴史・文化と地名 針間 道夫 熊野の「鬼地名」調査 松永 洋一 地名の先達(3) 千葉徳爾『新・地名の研究』—柳田国男の継承者 高橋 治 アイヌ語と地名(3) 児島 恭子 義経伝説の地名 見島 恭子 地名学習のすすめ(3) 小田 富英 地名つけ(名つけ)遊びの魅力 大江 修 谷川健一先生と日下 菊地 恒雄 神在月の出雲へ旅行 桐井 聰男 伝承と地名・ひとつの例として 佐渡山安公 宮古島に伝わる地名 唐柳=赤米地名研究に触れ、江戸天明期の古文書記録に思い当たる 関 恵子 厳父・慈母なる木曾川 松尾 裕 「地名は物語る」—ヨーロッパを知る手がかりとして—Part1・2 小林 汎

◆南朝史料研究紀要 南朝史料研究会 幽風舎 〒228-0812神奈川県相模原市南区相南1-2-9 山地悠一郎方 ◇3 2016.4 A4 103p はじめの言葉に代えて 消息 山地悠一郎 長慶天皇の伝説に心を宿して 山地悠一郎 長慶天皇陵論—上申地の側から見る政府の姿勢 和田 直大 長慶天皇山中陵に詣ず 山地悠一郎 大塔宮護良親王と光圓寺 菊井 一之

◆日本の石仏 日本石仏協会(発売:青娥書房) 〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-409 TEL0452-943-4409 年8000円

1977年創刊 ur0.work/su9s/ ◇157 2016.3 A5 64p 2000円 創立四〇周年を迎えて改めて「温故知新」を考えたい 坂口 和子 《特集 廻国供養塔から六十六部を考える》第37回石仏公開講座より 廻国供養塔から六十六部を考える 小嶋 博巳 石仏入門(11) 不動明王 門間 勇 名号塔の知識(23) 岡村 庄造 名号塔しるべ石 岡村 庄造 「石」を知る(45) 滋賀の「石」 小松 光衛 石仏写真と私(45) 「日本の石仏」を有効利用して……ゲスト 岡 田徳弘さん 杉本 康希 忘れられた磨崖仏 中野 高通 日本最古の道祖神 新井るい子 但馬の隔夜念仏供養塔 殿南 直也 仙台狛犬たち 三代川千恵子 日本石仏協会主催・一泊石仏見学会報告 埼玉県本庄市・群馬県伊勢崎市の石仏巡り 三代川千恵子 丹沢・巡礼峠の六十六部供養塔 田中 英雄

◆扣之帳 扣之帳刊行会 〒250-0021神奈川県小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円 2003年創刊 hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/ ◇51 2016.3 A5 100p 500円 わが映画鑑賞に悔いなし—戦後を風靡した女優原節子を語る 宇佐美ミサ子／田中豊／平倉正原節子、逝く 田中 豊 椿姫観音とおたあジュリア 今川 徳子 桜町仕法における年貢用捨の実体 尾上 武 続・ボクの映画館(5) 『犬神家の一族』における市川崑監督の映

画技術 平倉 正
「木村民俗」管見(5)
一寒念仏供養 青木 良一
『扣之帳』総目次(1~20)

◆藤沢市史研究

(続)藤沢市史編さん委員会
〒251-0054神奈川県藤沢市朝日町12-6 藤
沢市文書館 TEL0466-24-0171 1970年創刊
◇49 2016.3 A5 63p
高等学校への進学 永野 勝康
藤沢市文書館開館40周年記念
藤沢市史講座講演録
遊行寺と藤沢 他阿真教の遊行
と寺院創建について(試論) 高野 修
江島弁財天と庶民信仰 鈴木 良明
書評 藤沢市文書館発行『大庭御
厨に生きる人々』藤沢市史ブッ
ケット6 真鍋 淳哉

◆藤沢市文書館紀要

〒251-0054神奈川県藤沢市朝日町12-6
TEL0466-24-0171 1975年創刊
◇34 2015.3 A5 64+26p
「電子文書館」の作成とデジタル
画像の整理について 山田 之恵
『藤沢山日鑑』記事年表
(文政12年~天保2年) 酒井 麻子
藤沢市史年表稿(平成22年) 澤内 一見

◆三浦一族研究 三浦一族研究会

〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市政策推進部文化振興課内
TEL046-822-9478 年1000円 1997年創刊
www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0130/
culture_info/miura_ichizoku/
◇20 2016.3 A5 190p 800円
口絵資料紹介・解説 木造伝毘沙

門天立像—横須賀市・大善寺所
蔵 上杉 孝良
シンポジウム 総会記念ミニ・シ
ンポジウム 基調講演「三浦一
族研究の最前線」 真鍋 淳哉
房総正木氏諸家の系譜・姻戚関係
と発展過程についての一考察 安部川智浩
三浦道寸への古今伝授について 三浦 直子
講演会 陸奥会津葦名氏の興亡 土屋比都司
基礎講座「史料で読む三浦一族の
姿」第1回『天養記』から読む
国衙・荘園・三浦一族/第2回
『愚管抄』と『吾妻鏡』から読
む源実朝暗殺事件/第3回 紙背
文書から読む上総国の三浦一族
/第4回 公家日記から読む三浦
義村/第5回 荘園絵図から読む
越後国奥山荘 高橋 秀樹
学習講座
平成26年度第1回
大蔵合戦と源義平 鈴木かほる
平成26年度第2回 「衣笠城と新
井城の縄張」より「三浦半島
の名城・衣笠城」 八巻 孝夫
平成27年度 中世の横須賀郷 真鍋 淳哉
書評 高橋秀樹『三浦一族の中世』
長村 祥知
三浦一族の歴史と文化を訪ねて
平成26年度 第3回「三浦一門
長江氏の里を訪ねる」/平成27
年度 第1回「秋の永福寺を訪ね
て」、第2回「県立博物館の資料
からみる中世」 剣持輝久・編
吾妻鏡を読む会 いざ鎌倉!
武士たちの日常を追体験 伯山 敦仁
会員コーナー
三浦一族の領地の広がり 坏 三次
衣笠城址の思い出 長澤 久夫

最光寺に隠された三浦一族の秘
密 大塚 昭生
三浦一族研究会平成27年度史跡
めぐりに参加して 佐々木 成
幹事のオススメ本・情報の紹介コ
ーナー
『大矢部城郭遺構』 佐々木 成
『砕けて後は、もとの土くれ』 田中 健介
三浦一族関係文献目録(20) 中里 行雄

◆民具マンスリー

神奈川県日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇577 (49-1) 2016.4 A5 24p 350円
明治時代後期における牛乳殺菌処
理の導入と牛乳瓶 松本 友里
「明治の農具絵図」から—三枚羽根
唐箕(2) 巨摩型唐箕 桂 眞幸
◇578 (49-2) 2016.5 A5 24p 350円
シン村の儀礼版画
—伝統的版画製作と現在 鍋田 尚子
民具短信
寛政七年の紀年銘のある唐箕 藤井 裕之
現代籠作り技術の起源
—民俗考古学からの探究(5) 名久井文明
国際研究フォーラム「Homo mat
erial—人と民具と暮らしの国際
比較—」に参加して 岩野 邦康

◆悠久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
◇144 2016.3 A5 118p 680円
《特集 古代北部九州の海の信仰》
口絵 海の正月 写真・芳賀ライブラリー
私はこうして生きている。 蛭子 能収

海と古代国家の成立—一つの仮説
千田 稔
日本神話と海洋性 菅野 雅雄
宗像三女神と住吉三神
—比較神話学的視点から 平藤喜久子
万葉集・風土記にみる北部九州の
海波の信仰—文学堂為と伝承、
神仙への憧憬 城崎 陽子
北部九州の海の祭り 森 弘子
資料 北部九州(福岡県・佐賀県・
長崎県)及び山口県鎮座 海神の
社一覽 茂木 栄
口絵解説 海の正月
八幡宮紹介 平塚八幡宮(神奈川県
平塚市浅間町)
新刊紹介 『民俗と仮面の深層へ
—乾武俊選集—』乾武俊著 山
本ひろ子・宮島隆輔編/『折口
信夫の生成』松本博明著

中 部

◆郷土史編さん誌みなみうおぬま
南魚沼市教育委員会
〒949-6680新潟県南魚沼市六日町456-1 社
会教育課郷土史編さん係 TEL025-773-2197
◇13 2016.3 A5 99p
能文化がこの地に浸透しつつある
気配がある 今成 卓而
特集 南魚沼市域の郷土史「南魚
沼市域に見る郷土史研究のあゆ
み—塩沢地域論—」 笹木 孝雄
ふるさと通信
南魚沼市域にみる地方知行の三
事例 本山 幸一
清水村の口留番所 本山 幸一
南魚沼の校歌の歴史(補遺) 目黒 公司
総集編
町史編さん室だより 全11回

『広報むいかいち』平成14年
5月1日号～平成16年10月29日
号)

昭和の風景 その一～その十二
・最終回 中俣正義写真集よ
り(『市報みなみ魚沼』平成
21年8月15日号～平成22年8月
15日号)

◆郷土史燕

燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会
〒959-1295新潟県燕市白山町2-7-27
TEL0256-63-4131 2008年創刊

◇9 2016.3 A5 260p

吉田地区の狛犬を尋ねて(4) 大江 登
『越後輿地全図』とその系譜につ
いて 亀井 功
江戸時代の庶民の湯治は娯楽? 治
療? 亀井 功

阿賀北方面の史跡・文化 高橋 久二
古代蒲原郡の紡輪・糸杵 春日 真実
江添C遺跡の墨書土器について 本間 敏則

良寛の師 大森子陽と大森家の謎
を探る 竹内 登

良寛の友 阿部定珍の墓を高知に
訪ねて 阿部 玲子

こうちゃんの古文書「ななめ読み」
(2) 亀井 功

史料紹介

西川は農業用水路となるばかり
でなく上水道の源として役割
をしてきたが 濱田 達郎
文政九年正月『諸仁儀控帳』 塚本 智弘
「洪水体験談」(抄録) 西海土寿郎

◆郷土新潟 新潟郷土史研究会

〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15
伊藤善允方 TEL025-266-3076 年4000円

1963年創刊

◇56 2016.3 A5 110p

信濃川堤防改築と鳥屋野地区(上)

藤塚 明

『改正 越後国全図』の売払所

書肆吉井久助と小田島儀兵衛一
大城屋良助を取り巻く書肆書林

亀井 功

居留外国人による新潟での借地を

たどる(下) 青柳 正俊

横越の焼山へ墜落したB-29(上)

一少年が見た70年前の大事件 神田 勝郎

古代新潟の国郡制の創始と変遷 鱈淵 好輝

井上文昌 大船絵馬と新潟湊之真

景観の考察 齋藤 倫示

資料紹介

伊藤家『諸日記帳』(3) 伊藤 雅一

書籍紹介

中野三義著『新潟奉行川村修就
の治政の総合的研究—新潟湊
の天保改革—』 山上 卓夫

中村義隆著『古文書が語る北越
の領主と民衆』 伊藤 雅一

平成27年度春の史跡探訪「北方文
化博物館・横越の石碑・記念碑

めぐり」 大田 朋子

第29回会津と越後を語る会
喜多方大会道中記 石塚 端夫

◆まきの木 巻郷土資料館友の会

〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇104 2016.4 B5 16p

石碑にみる土地改良(2)

—西蒲区地区を中心に 近 武郎

昔の農具「犁」の新潟県への導入

時期について 細井 住浩

越王太鼓誕生～鼓童に憧れて 山添 正文

平成27年度秋の視察研修旅行 山賀 誠

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262

1978年創刊

◇152 2016.4 A4 20p

良寛つれづれ(1) 人生の師 長谷川義明
折々の良寛(41)

常不軽菩薩について 長谷川義明

全国良寛会糸魚川大会 歓迎のこ
とば ようこそ相馬御風の生誕

地へ 高瀬 衛

全国良寛会糸魚川大会 記念講演

ようこそ!御風ワールドへ—御
風が糸魚川から発信しようとし

たこと 岡村 鉄琴

歓迎アトラクション

天津神社の舞楽

「はちすの露」を深く読む 五、

良寛と貞心尼 最晩年の交流 小島 正芳
良寛さんの俳句

—「鯛売り」の句から 櫻井 浩治

良寛の風光について 本間 勲

良寛の愛語(2) 中嶋 靖児

相馬御風の良寛(1)

「おれがの」のこと 金子善八郎

良寛 酒をめであるうた 素描 吉田 福恵

良寛の読んだ藁とは雪割草か 山上 健

良寛を訪ねて(1)

出生の地 出雲崎(上)

◆富山史壇 越中央談会

〒930-0115富山県富山市茶屋町33-2
富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊

◇179 2016.3 A5 102p 1300円

石黒信由の測量図と地域社会・加

賀藩 野積 正吉

文覚の若狭西津荘関与と越中諸荘
園米運送—比企氏の乱との関係

の視点より 久保 尚文

富山の「竹久夢二画会」

—新たな文化システムの創造 九里 文子

加賀藩の銀座と町人の関与—初期

の今石動銀座を考えるに当たっ
て 桜井 泉

史料紹介 常西合口用水下流の大

庄村に発電所新設の噂あるにつ
つき舟橋村より意見上申 浦田 正吉

文化財レポート

白谷岩遺跡の発見とその意義 高岡 徹

歴史随想 立山における娯尊信仰
と帝釈天 山元 正気

平成27年度特別講演会要旨 柴田

勝家と本能寺の変—北国におけ
る織田体制 藤田 達生

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772 年3000円

1993年創刊

◇49 2016.4 A4 6p

砺波型狛犬 尾田 武雄

常願寺川左岸の疫神 滝本やすし

「明如上人」越中・飛州巡教のい
しぶみ 平井 一雄

第51回例会「加賀温泉郷守護寺の
石仏めぐり」に参加して 長谷かおり

◆「北陸石仏の会」通信

〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772 年3000円

2016年創刊

◇1 2016.4 A4 2p

はつらつ県東部「飛騨街道の野仏

知って 先人の信仰たどる」北
日本新聞 2016年1月30日(土)
「誌上講座 名号塔の知識(22)
光導と北陸の名号塔」(岡村庄
造)、『日本の石仏』2015冬 No
156)

◆加南地方史研究 加南地方史研究会
〒923-0903石川県小松市丸の内公園町
小松市立博物館内 TEL0761-22-0714
1955年創刊 kananchihoushi.com

◇63 2016.3 B5 99p

霞の髓より天井覗く

一絵地図より読み取れるもの 山前 圭佑
多太神社回向札と遊行上人実盛回
向の関係を考察する(1) 橋本 正準
幕府御用銅船遭難の真相(2) 岡田 孝
無告の岩(北國出版社)

一四十年前を振り返って 池端 大二
認知症対策に民俗資料活用を 犬丸 博雄
百姓の持ちたる国の「戦国期本願
寺教団の直参制と新訳・直参道
場」について 小枝 俊弘

九谷焼史料研究『芟憩紀聞』 正和 久佳
中世後期加賀国那谷寺の動向一本
泉坊事件と醍醐寺金剛王院門跡
の下向を中心に 室山 孝
新出の『白根草』について 綿貫 豊昭
史料紹介 石川県立歴史博物館所
蔵「加州那谷寺絵図」について

室山 孝
青空教室に参加して 伊井 虎男
御影道中に参加して 竹田外喜男
全国植樹祭について 藤田 勝男

◆加能民俗 加能民俗の会

〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236

年4000円 1950年創刊

◇159 (12-17) 2016.3 A5 11p

追悼 今村充夫氏—誠実で他分野
に実績を残された研究者 天野 武
今村充夫先生・林昇先生追悼の記
藤島 秀隆

昭和に聞いた年中行事(3)—加賀
市に生まれて、現在は白山市に
住んでいます 立花 玲子
出版紹介 橘禮吉著『白山奥山人
の民俗誌—忘れられた人々の記
録』 由谷 裕哉

◆加能民俗研究 加能民俗の会

〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円 1972年創刊

◇47 2016.3 A5 64p

輪島市西時国知久における「サン
ノさん」信仰の過去と現在
鳥谷武史/松村恵里

農地改革にみる焼畑用地・ムッシ
文書について—旧白峰村桑島杉
原家文書の事例 橘 礼吉
金沢市の虫送り行事(2)

寺地町の虫送り/野田町の虫送
り 真山 武志
涌波の虫送り太鼓/辰巳町の虫
送り/東市瀬町の虫送り/北
袋町の虫送り/湯涌河内町・
曲町の虫送り/下涌波町の虫
送り太鼓/東原町の虫送り太
鼓 東條さやか

小松市内の戦争モニュメント研究
に向けて 由谷 裕哉

◆北陸の民俗 北陸三県民俗の会年会記録
富山民俗の会・福井民俗の会・加能民俗の

会 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 加能民俗の会
TEL076-262-3236 1983年創刊

◇33 2016.3 B5 23p

《北陸三県民俗の会第40回年会記録 2015》
共通課題—各県民俗研究団体の創設時
北陸三県民俗の会・各県の会発
足当時のこと 『加能民俗の
会のはじまりの伝承』 小林 忠雄
佐々木龍作と大田栄太郎
—富山民俗の会の流れ 佐伯 安一
杉原丈夫の全業績—哲学者、民
俗学者、文学者として 内田 好美

北陸三県の民俗研究動向
石川県の民俗研究動向
富山県の民俗研究動向
福井県の民俗研究動向

◆郷土高根 高根町郷土研究会

〒408-0019山梨県北社市高根町村山東割
696 清水光方 TEL0551-47-4224

◇33 2016.3 A4 69p

巻頭言 歩いてみよう 跡部 義幸
八ヶ岳南麓に発達する「八里岩
(仮称)」の断崖—その形態と特
徴(③北部区間) 内藤 久敬
村山東割の村落構成に関する一考
察 清水 光
安都玉地区と安都那地区 「堤」 安達 満
大芝宗十郎 跡部 義幸
浅川兄弟を偲ぶ日韓友好の旅 永関 福次
水なき農業の闘い 西沢堰 歌田 吉雄
浅川伯教50首抄(承前) 澤谷 滋子
史料から読み解く花水橋あれこれ
植松 正江

五町田の歴史的沿革と農業 小尾 敦
先人達の奏でる交響曲
—はくと先人室 永関 雅恵

「郷土高根」第32号を読んで

編集長への手紙 継続と成長 高室陽二郎
研修旅行・研修会
第1回研修会の概要 手塚 和義
第1回研修会 足和田村災害
余話—その時は見た 清水礎太夫
第1・2回研修会を終えて 清水 光
甲源—刀流の逸見氏と南麓の逸
見氏 安達 満
諏訪大社上社前宮の若御子社に
出会って 安達 満
ふるさと探検 ふるさと探検関係
甲地区/フットパス in 高根関
係 安都那地区 手塚 和義
あとがき—手づくり10年 清水礎太夫

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034長野県飯田市追手町2-655-7
TEL0265-22-8118 1990年創刊
www.iida-museum.org

◇26 2016.3 A4 111p

菱田春草《雨中美人》の〈未完成
画〉について 横村 洋介
資料紹介
中村舜治宛菱田春草書簡 小島 淳
立川富保の彫刻事績とその周辺—
新出の「寿仙寺山門図」と「原
家文書」をめぐって 水野 耕嗣

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670
www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/

◇81 2016.4 A4 4p

飯田市歴史研究所
平成28年度事業概要
飯田・下伊那の歴史と景観 その1
平成27年度研究助成報告会が開催

されました「記録と記憶・経験の継承」長野原歴史研究会、「古代伊那郡の具体的な姿・風景」長野県考古学会 上・下伊那学会員有志
リレーエッセイ(1)
海苔にはまっています 吉田 伸之
歴研Q & A 堀氏は飯田へ来る前はどこにいたの？

◆伊那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1055 (64-4) 2016.4 A5 50p 550円
《考古学特集》
口絵 伊那谷3基目の前方後円墳
「笛吹2号古墳」 飯田市教育委員会
古墳への馬供献一殉利と供犠 桐原 健
恒川清水の今昔 宮澤 恒之
水晶山山頂は後期旧石器時代の遺跡 市橋 雄一
古墳保存活動その後 古川 學
「古代伊那郡研究会」活動経過報告
竹内稔／市澤英利
「笛吹2号古墳」口絵解説続き
飯田市教育委員会
高森町山吹下平1号墳について 小林 正春
平成27年下伊那考古学年報 小林 正春
書籍の紹介「文化の十字路口 信州」一般社団法人日本考古学協会2013年度長野大会研究発表資料集 小林 正春
◇1056 (64-5) 2016.5 A5 50p 550円
口絵 西郷隆盛・幕末三舟等の墨書と堀親義(研山)の極書 今牧 久
商品流通の発展と天竜川交通(1) 伊坪 達郎
史料紹介
享保10年の天龍川のせき止め 前澤 健

江戸時代の人々の家永続への願い
(1)一嶋田村森本家の家訓を通して 塩澤 元広
比田井天来の来峡と二人の門人一「満島の三筆」と関連させて 鎌倉 貞男

◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7
TEL0265-78-1269 年5000円
◇711 (60-4) 2016.4 A5 40p 500円
『古今書院』創設者・西春近村出身の橋本福松(1)一教員から実業家へと歩んだその波乱の生涯に学ぶ 三上 徹也
伊那市が取り組む古い地名調査(1) 竹松 亨
伊那商事索道(1)一当時の写真と職員の証言から検証 小林 哲
上伊那地域の「御柱」
飯塚政美氏を偲ぶ 赤羽 義洋
日本の子育て(24) 人を見たら泥棒と思え 大槻 武治
古文書の窓(126) 宮大工棟梁 小口直四郎の請負証文 三浦 孝美
◇712 (60-5) 2016.5 A5 40p 500円
上伊那地域にも広がる松くい虫被害一被害の現状と対策を考える 近藤 道治
短歌 破袋大黒柱鬼の首(14) 野溝 直人
伊那市が取り組む古い地名調査(2) 竹松 亨
伊那商事索道(2)一当時の写真と職員の証言から検証 小林 哲
高遠歴史博物館・春季特別展 中村不折生誕150年「己を広げ己を高め」について 林 洋一

『古今書院』創設者・西春近村出身の橋本福松(2)一教員から実業家へと歩んだその波乱の生涯に学ぶ 三上 徹也

◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
inaminkenhome/blogspot.jp
◇104 2016.3 B5 8p
表紙 東京公演／本町三丁目大名行列 塚平 寛志
花形役者が語る 飯田お練りまつりの精華 本町三丁目大名行列 本町三丁目大名行列保存会 宮下勝吉さんインタビュー
民俗学入門ゼミナール第1期 成果論文要旨 飯田の花柳界がもたらしたものは何か～地域文化の継承・再生に向けて 北原太志郎
民俗学入門講座第IV期 柳田国男の民俗学・その仮説を学ぶ 第3～5回福田アジオ所長講演要旨／第II期民俗学入門ゼミナール報告 今井 啓
多様な個性を一つに結ぶ“南信州くらし”で輝く地域づくり「民俗芸能継承プロジェクト」の取り組み 秦野 高彦
◆上田盆地 上田民俗研究会
〒386-0014長野県上田市材木町1-2-47
上田市立図書館内 TEL0268-22-5999
1959年創刊
◇43 2016.3 A5 48p
方言あれこれ 出野 憲司

方言カルタあそび 瀬田 忠雄
方言雑感 酒井 佐
方言の思い出 宮澤かほる
民俗研究会 談話会
方言のことあれこれ語ろう 丸田ハツ子

◆信濃 信濃史学会
〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35
年10200円 www.shinano-shigakukai.jp
◇795 (68-4) 2016.4 A5 82p 1000円
南山一揆における惣代伴助の位置づけ一人の移動という視点から 速渡 賀大
文治の記録所と「十三箇条の折紙」について 山部木の実
「仁科大町」街区の成り立ちをめぐる 小林 茂喜
1月例会報告
野沢温泉道祖神祭り見学の報告 多田井幸視
見学会に参加して(1) 山田 潤
見学会に参加して(2) 柳沢 賢次
◇796 (68-5) 2016.5 A5 80p 1000p
近世期における依田氏の鷹狩り一祢津流放鷹術の展開をめぐる 二本松泰子
安倍貞行と興行一平安前期上野国における「良吏」政治の系譜 関口 功一
阪本天山の易学的な砲術論一『火砲周発取易象弁釈』『火砲説』の分析 林 洋一
史料紹介 近世小笠原流故実書「産所道具」 村石 正行
◆長野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/

◇303 2016.4 A5 64p 800円
表紙解説 長野市役所旧第一庁舎
／本会が新たに拡大、複製した
新たな絵解き—複製した「善光
寺如来絵伝」(竹風堂蔵)
各地の御柱祭 情報提供のお願い
・平成に入ってから御柱祭を開
催した記録のある長野県内の神
社 小林竜太郎
本会が目指す新たな絵解き—複製
した善光寺如来絵伝 小林 玲子
長野町で出版された真田三代記 小林 一郎
「高野辰之日記」を読む(1) 中山裕一郎
瀬下敬忠の未刊稿本(3)
鄙十百韻(乾卷)(1) 矢羽 勝幸
北村喜代松が関与したと考えられ
る安茂里差出区の神楽屋台 草間 律
森鷗外と信州(2)
県内に二基の撰文碑 中田 敬三
西光寺の絵解きパリへ 竹澤 環江
長野市役所・長野市美術館の界わ
いを歩く 小林竜太郎
郷土史の視界(9)
真田ヒノモトイチの兵 小林 一郎
長野と全国各地の繋がり(9)
各地に伝わる善光寺如来絵伝 小林 玲子

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇252 2016.3 B5 8p
野沢温泉の道祖神祭り
一第198回例会参加記 大楽 和正
野沢温泉道祖神祭り見学記 市東 真一
書評 市川秀之・中野紀和・篠原
徹・常光徹・福田アジオ編著
『はじめて学ぶ 民俗学』 小森 明里

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園
内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇92 2016.4 A4 8p
表紙 三角縁二神二獣鏡 海津市
円満寺山古墳出土 古墳時代前
期 岐阜県博物館蔵
企画展「タイムスリップ! 大むか
しのくらし」
企画展 日本遺産「信長公のおも
てなし」が息づく戦国城下町・
岐阜認定記念「鶴飼」
加藤栄三・東一記念美術館 開館
25周年 加藤栄三生誕110年・
東一生誕100年「加藤栄三・東
一の初披露作品展」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤
晋 日本画展」
館蔵資料紹介 岐阜小学校文書
近代(明治～昭和) 345件

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館
内 TEL058-275-5111 年2800円
1973年創刊
www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosien/k_index.htm

◇125 2016.3 B5 28p

飛騨での最初の句集『位山集』の
解説 伊藤 浩子
平成二十七年度総会講演会「織田
信長の永禄四年の美濃攻め」 横山 住雄
「岐阜縣下新十名所」選定と郷土 可児 光生
北方京水遺跡発掘調査成果を活か
した周辺地域の条里復元 加西 慎吾
蘇原銀行の誕生から破産まで 黒田 隆志
岐阜 守護所から戦国城下町へ 内堀 信雄
加茂 圏域の「歴史的シンボル」
・堂洞城 可児 光生

東濃 高山城・高山宿史料保存会
拠点高山区民会館 美濃焼学習
センター活用を 桃井 勝
郷土関係新刊書目録(110)
郷土関係逐次刊行物文献目録(109)

◆美文会報 美濃文化財研究会

〒509-0124岐阜県各務原市鶴沼山崎町9-
101 横山住雄方 TEL058-384-1983
◇539 (16-3) 2016.3 B5 6p 500円
河北山洞興寺 鈴木 富雄
般若坊鉄船について 横山 住雄

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円

◇451 2016.4 B5 4p 100円
4月例会レジュメ なぜ日本電機
産業は競争力を喪失したのか—
製品アーキテクチャによる分析
を中心として 児玉 和人
旧制静岡高等学校戦没者遺稿集
『地のさざめごと』から「慰安所」
の手記 岩田 晶

◇452 2016.5 B5 4p 100円
5月例会レジュメ 大日本傷痍軍
人会の活動と戦時下の「癡兵」・
傷痍軍人 松田 英里
合本以降の近代史研究会会報のネ
ット上での公開について 清水 実
書籍紹介 静岡県女性史研究会
『しずおかのおんなたち』第九集 小池 善之

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/
◇159 2016.4 A4 8p

講演要旨「御殿場市の民俗芸能—
祓いの儀礼と方式—」 高山 茂
研究発表要旨「模倣鈴」 勝間田仁美
第2回例会 研究発表報告／平成
27年度 ジュニア講座(富士市
立博物館との共催)
調査報告 松崎峰輪の天王祭 渡辺 好洋
博物館情報／受贈図書・刊行物紹
介

◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
富士市立博物館内 TEL0545-21-3380
1965年創刊
◇70 2016.4 B5 121p
表紙解説 浮島沼の開拓 加藤 昭夫
巻頭言 郷土の先人の偉業を知り、
伝え、後世につなげる 加藤 昭夫
吉原宿本陣の起源・由緒 渡辺 誠
日常生活の数字(3) 渡辺 照好
阿野全成(義経の兄)とその後裔の
研究 松葉屋幸則

“日本のモンブラン” 富士山の麓
に上陸—ディアナ号乗組員、富
士での十日間 加藤 昭夫
浮島が原沖の船戦(ふないくさ) 篠原巳津夫
絵図に見る江戸時代の東海道(2)
富士川の吊り橋を通る道 田邊 泰弘
富士川雁堤の研究 高田 國義
須津の庄(中里)の旗本戸氏を訪
ねて 矢崎 巖
NHK「プラタモリ」—富士山編
出演日記 渡井 一信

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
◇250 2016.4 A5 36p

熱田雑集六 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧
(7) 小久保雅広

◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会
〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1
刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000
1980年創刊

◇37 2016.3 A5 p
文化講演会 桶狭間への道—西三
河における織田氏と今川氏の抗
争 松島 周一
矢作川下流域で捕食されてきた貝
類 伊藤 利和
刈谷藩奥州分領跡訪問記 三ツ松 悟
佐々木市兵衛略伝の検討 山田 孝
小垣江新田と平野宗家及び枕返塚
内藤 元久

だれが Think Without Books と
言ったか—加藤与五郎とアーク
ィング・ラングミュア 鈴木 哲
日本画家加藤紫軒(続々) 加藤修・加藤俊彦
「刈谷新聞」に見る一九六〇年前
後の刈谷 岡本 建国
追悼 平井芳男さん 岡本 建国
永田友市さんを偲ぶ 竹中 兼利
市内研修会 刈谷城址見学 矢田 直幸
県内研修会 県内研修会 天平か
ら明治までの豊川巡り—西明寺
・三国分尼寺跡・御油赤坂 長嶋 秀雄
『かりや』所収刈谷城・天誅組・
依佐美送信所記事一覽

◆銃砲史研究 日本銃砲史学会
〒114-0014東京都北区田端3-1-12 コスモ
ブレイス田端403 栗原洋一方(連絡先)
◇383 2016.3 A4 75p
巻頭あいさつ文 日本の射撃競技

とオリンピック 坂本 剛二
火器保有数から見る江戸末期幕府
軍制と火力 伊藤 秀憲
『火薬類通覧』から見た鉄砲用火
薬について(後編) 栗原 洋一
地方例会報告
「2015年 新城市地方例会準備に
ついて」の報告 松岡 孝治
鷹ヶ巣山岩、陥落の衝撃 湯浅 大司
資料紹介
「東京陸軍兵器本廠歴史前記」に
ついて(1) 小西 雅徳
江戸鉄砲小道具の世界 火縄 小西 雅徳

◆新城市設楽原歴史資料館・
新城市長篠城址史跡保存館研究紀要
新城市設楽原歴史資料館
〒411-1305愛知県新城市竹広字信玄原552
新城市長篠城址史跡保存館
〒411-1634愛知県新城市長篠字市場22-1

◇20 2016.3 A5 79p
戦国鉄砲戦の実像を求めて
—常識を破る鉄砲玉の存在 宇田川武久
保存館50年の落穂拾い 林 正雄
『菅沼家譜』にみる長篠・設楽原
の戦い布陣図について 湯浅 大司
新城市設楽原歴史資料館年報
新城市長篠城址史跡保存館年報

◆年報 近現代史研究 近現代史研究会
〒464-8601名古屋千種区不老町 名古屋
大学文学研究科日本史学研究室気付
TEL052-789-2228 2009年創刊
◇8 2016.3 B5 1900円
《近現代史研究会発足10周年記念特集》
ご挨拶 羽賀 祥二
記念講演会記録 「生存」の歴史
学の構想—歴史学再考のために

大門 正克
シンポジウム記録 報告要旨
地域での歴史研究についての思
うこと—自己の体験から 神谷 智
自治体史の中の教育史 吉川 卓治
中部の産業遺産研究史の課題と
展望 石田 正治
東京の中の旧藩—元貢進生 清水
彦五郎の役割を中心に 内山 一幸
地域の視点 「地域博物館のこれ
から」—美濃加茂市民ミュージ
アムを例に 可見 光生
新刊紹介 坂本悠一編『地域のな
かの軍隊7 帝国支配の最前線
植民地』 大山 僚介

◆皇學館史学 皇學館大学史学会
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
皇學館大学文学部国史学科研究室
TEL0596-22-6456 1986年創刊
kokushi.kogakkan-u.ac.jp

◇31 2016.3 A5 158p
北魏孝文帝の「漢化政策」とその
支持者について 堀内 淳一
伊勢の大神宮と東大寺大仏造立 岡田 登
伊勢国桑名郡春日社社家と神祇官
吉田家—戦国期を中心として 伊藤 信吉
『岩倉公実記』の編纂と公文書 谷口 裕信
『読史余論』の研究 宮本 晃成

◆皇學館大学研究開発推進センター紀要
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6466 2015年創刊
www.kogakkan-u.ac.jp

◇2 2016.3 A4 261p
講演 平成26年度皇學館大学研究
開発推進センター神道研究所公
開学術講演会 荷田春満と「荷

田派」の国学者 松本 久史
シンポジウム 平成26年度皇學館
大学研究開発推進センター神
道研究所公開学術講演会 古
代の祭祀と伊勢神宮
コメンテーター 岡田登氏
企画・司会・コメント 山口剛史氏
古代祭祀論の基調 岡田 莊司
「延暦儀式帳」考 加茂 正典
古代における内外両宮の祭祀構
造—一年中行事も視野に入れて
藤森 馨
大神宮助けさせたまへ—平安時
代のアマテラスの変貌 齋藤 英喜
宝巻と道教の煉養思想について
馬西沙/松下道信・訳

「新道教」再考—全真教研究の枠
組みについての再検討 松下 道信
別宮遷宮の歴史について 音羽 悟
『皇太神宮儀式帳』校訂試案 佐野 真人

◆皇學館大学研究開発推進センター年報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6466 2015年創刊
www.kogakkan-u.ac.jp

◇2 2016.3 A4 171p *事業報告のみ
◆三重の古文化 三重郷土会
〒514-2305三重県津市安濃町清水1008
浅生悦生方 TEL059-268-2671 年4000円
1947年創刊

◇101 (通142) 2016.3 A5 160p
鈴木義一氏の『『仙宮院秘文』の
研究』をよんで 中世古祥道
石水博物館蔵、「当洞近郷所々古
城図」について 浅生 悦生
「寛政の一揆」関連の歴史遺産を
めぐって—石造物調査の成果を

中心に 吉村 利男
 城腰山長楽寺の古記録と郷土の俳
 人二世服部慶乗について 湊 章治
 松坂城下の紀州藩校の変遷—松坂
 学問所・松坂学習館・松坂郷学
 所 門 暉代司
 西村広林の木草物産学 小玉 道明
 西村広林が見た松浦武四郎の蝦夷
 地紀行本 山持 命
 明治前期の石灰肥料施用制限に関
 する一考察—西洋農学の受容と
 普及 石原 佳樹
 二〇一五年、三重の文芸事情 藤田 明
 「小津安二郎、歴史との交差」
 補遺 藤田 明
 『猪名部』と江坂輝彌先生—縦七
 考古少年のノートから 岩野 晃司
 八賀晋さんを偲んで 岩野 晃司
 書家松田雪柯の東京日常(2) 福永 昭
 昭和三年、年末年始 江戸川乱歩
 の的矢滞在 萩原 正夫
 史料復刻 四日市市「来田家」文
 書 三重郷土会古文書勉強会
 新聞記事から 下村登良男

近畿

◆湖国と文化 (財滋賀県文化振興事業団
 〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生
 会館 TEL077-522-8369 年2520円
 1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.jp
 ◇155 (40-2) 2016.4 B5 92p 584円
 《特集 湖国三大祭(大津祭・長浜曳山祭・
 日吉山王祭)》
 祭りの宝庫・近江 湖国三大祭 木村 至宏
 大津祭 和田 光生
 祭りとともに育つ 小川 正
 長浜曳山祭 中島 誠一
 祭りの表舞台と裏側 吉川 宏暉

日吉山王祭 山口 幸次
 駕輿丁の花形・鼻 編集 室
 おうみ(近江)おうみ(多見)歩く
 (20)最終回 関ヶ原から磨針峠
 まで 加藤 賢治
 おもしろ近江考古学(7)
 彩色壁画(高島市日置前廃寺) 松浦 俊和
 鳥の目巡遊(7)
 「大回り電車」で琵琶湖一周 延木由起子
 滋賀文化事情
 25周年の陶芸の森で日米共同企
 画公募展 大槻 倫子
 第30回を迎えた『わらげん寄せ』
 山本 常秋
 大津事件のニコライ2世 赤尾 和美
 米原市の山村で奇祭「おこない」 清水 豊子
 超健脚組にまじり、琵琶湖一周
 眞壁 四郎
 遊技焼の世界(中) 展覧会 吉永 太市
 湖国藝術紀行(18)
 谷文晁が見た三上山 八田 正文
 シリーズふるさと遊彩(9)
 湖国の花名所 田中陽一郎
 歴史文書は語る 県政史料室から
 (19) 近江鉄道の軌跡 松岡 隆史
 三角点の山と私(8) 魅力的な低山
 十二坊(岩根山) 森 和代
 山本山 久保田俊樹

◆民俗文化 滋賀民俗学会
 〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
 TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
 sigaminzoku.fc2web.com
 ◇632 2016.5 B5 12p 400円
 赤と「嫌み」の文化(1) 長谷川博美
 戦後の栄養士の仕事—山本悦子さ
 んの体験を文司知美が採録 大喜多紀明
 アイヌ口承文芸の対句使用

—「倫理」と「情」 大喜多紀明
 近江木戸の民俗(5)
 一旧滋賀郡志賀町 菅沼晃次郎
 長谷川家の鶯(うぐいす)徳利
 さんまいのこと 長谷川博美
 栓抜きについて 粕淵 宏昭

◆京都府立大学文学部歴史学科
 フィールド調査集報
 〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
 2015年創刊
 ◇2 2016.3 A4 161p
 第I部 地域の歴史と文化遺産の
 調査(京都府域)
 宮津市府中地域の板碑調査
 京都府立大学文学部考古学研究室
 成相寺境内におけるデジタルカ
 メラとボールを使った写真測量
 内山幹夫/菱田哲郎
 大宮売神社遺跡出土遺物の調査
 向井 佑介
 「日本のふるさと大丹後展」展
 示解説について 三輪眞嗣/島本多敬
 「丹後の村から見た戦争」と「大
 丹後展」の企画に関わって 小林 啓治
 舞鶴市域の歴史研究と成果の博
 物館展示への応用に関する調
 査研究 横内裕人/上杉和央
 舞鶴幼稚園、堂奥・多聞院・成
 生の歴史資料調査 東 昇
 舞鶴市立舞鶴幼稚園の資料整理
 安藤 智美
 多聞院地区山口神社祭礼調査 迎田幸志郎
 京田辺市歴史資料共同調査報告
 会と市民ボランティア 東 昇
 京田辺市歴史資料共同調査 井上 真美
 信仰と生業のつながりから見た
 丹後—丹後地域現地調査報告

島本 多敬
 第II部 地域の歴史と文化遺産の
 調査(京都府外)
 神河町城山古墳群の測量調査
 京都府立大学文学部考古学研究室
 屋島の名勝的価値に関する調査
 上杉 和央
 岩国市の文化的景観(地理的条
 件)に関する調査研究 上杉 和央
 碾茶・玉露の生産景観に関する
 調査 上杉 和央
 沖縄県与那原町の調査 上杉 和央
 滋賀県東近江市の文化的景観調
 査 上杉 和央
 津山市史民俗部会調査 井上 真美
 第III部
 文化遺産デザイン研修報告
 「2015文化遺産デザイン研修」の
 記録 上原 駿一
 「京都の歴史を歩こう! 2015
 上賀茂編」歴史遠足報告 上原 駿一
 「京都の歴史を歩こう! 一下鴨
 編一」の事前調査 長谷川昇平
 「京都の歴史を歩こう! 一下鴨
 編一」歴史遠足報告 壁谷 奈央
 第IV部 文化遺産フィールド研修
 報告
 静岡県袋井市藤枝市の文化遺産
 ～フィールド研修2015につい
 て 菱田 哲郎
 袋井市可睡斎・常林寺における
 フィールド研修
 益田紗由美/八重樫奈月
 /井上真美/萩恵理子
 藤枝宿・岡部宿での研修報告
 水野拓也/木下梨紗子/
 竹内祥一郎/井上真美
 藤枝市域の茶業に関する研修報

告 藪内衿子／福岡優華
藤枝地域の史跡についての研修
報告 陰地祐輝／土田雄大／寺岡潤
一郎／新尺雅弘／大平理紗
活人剣とその再建
一竣工式によせて 岡本 隆司

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9
上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊
www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/
◇83 2016.4 A5 64p 1000円
古代史と数学教育 中村 修
『古事記』崩年分註の史料性検証 新井 宏
邪馬壹(壹)国／邪馬臺(台)国
一文獻引用をめくって 下司 和男
直弧文研究史余話(2) 中村 修
美濃の舶来山古墳群と席田建郡一
席田郡1300年記念 舶来山古墳
群報告会を拝聴して 尾関 章
百済観音の飛鳥時代(6)
百済観音の神仙思想 三 山下 輝幸

◆史迹と美術 史迹美術同致会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
◇864 (86-4) 2016.5 A5 32p 916円
皆川淇園の澆器をめくって 村上 泰昭
日本の塔百選(44) 切幡寺大塔 中西 亨
古代エジプトのピラミッドは王の
墓だろうか? 中西 亨
第1015回例会 海南市山奥の文化
財から徳川大名遺産を訪ねる 松本 啓吾
第1016回例会 霊山寺から信貴山
を経て笠石佛 東 暲
口絵写真解説

名張市の文化財と石灯籠 田中 康夫
故小林名誉副会長が初代鬼師とし
て称賛される 東 暲

◆地名探究 京都地名研究会
〒610-1101京都市西京区大枝北沓掛町2-8-
20 入江成治方 TEL075-332-2107
年3000円 2003年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/

◇14 2016.4 A4 86p
伏見稲荷大社の「稲荷」の由来 綱本 逸雄
講演
禹父山と高子二十境
一福島市伊達市上保原町 植村 善博
若狭という風土と地名の課題 金田 久璋
秋山郷 平家落人伝説と地名
一その構造をさぐる 明川 忠夫
大路・小路から通りへ
一公家の日記を探る 清水 弘
地名としての「橋立」研究の開始
加藤 晃
舞鶴の女帝・二尾(匂崎)・大丹生
という地名と「丹のくに」 高橋 聰子
額田王と蒲生野の歌 伴 とし子
「つじ(辻)」の語源と大和嚮向の
地名「辻」について 吉田 金彦
難読地名「一口」再考 小寺 慶昭
地名から見る古代秦氏が使用した
言語 大野 克二
「大和の青垣、山籠れる」の意味
一谷川健一の「青」を受け継い
で 吉田 金彦

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒610-1101京都市西京区大枝北沓掛町2-8-
20 入江成治方 TEL075-332-2107
年3000円 2002年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/

◇53 2016.3 A4 8p
第42回地名フォーラム報告 発表
1 地形が語る縄文語の地名(永
田良茂)、発表2 山城国の木簡
と地名(糸井通浩)、発表3 カ
ルタと俳諧で解く「先斗町」の
語源(杉本重雄)
第15回総会及び講演会案内 講演
1 上杉本洛中洛外図屏風と地
名(川崎将生)、2 「京都」とは
何か～地名「京都」の成立とそ
の背景～(井上満郎)
地名随想
右京・左京から上辺・下辺を経
て上京・下京へ 清水 弘
北山の山名(2) 小寺 慶昭

◆日本宗教民俗学会通信
〒603-8143京都市北区小山上総町22
大谷大学平野研究室内 TEL075-432-3131
年5000円 religiousfolklore.in.coocan.jp

◇136 2016.4 B5 6p
2015年度フィールドワーク実施報
告／参加者の感想 「あえのこ
と」フィールドワーク・雑感
斎藤英喜氏
例会を振り返っての報告 2015年
11月関東例会の参加者からの
報告
第1報告 渡瀬綾乃「信仰とハレ
の食一下甕島の報恩講一」
本林靖久氏
第2報告 坂本要「双盤念仏の分
類と構成」玉井ゆかり氏
例会を振り返っての報告 2016年
2月例会の参加者からの報告
森田登代子「近世の天皇即位式
と庶民」星優也氏

◆やましろ 城南郷土史研究会
〒619-0204京都府木津川市山城町上狛南野
田芝29 中津川方 TEL0774-86-3262
1953年創刊
◇29 2016.3 B5 142p 1200円
木津川市上狛出身 不屈のジャー
ナリスト・柳沢恭雄とその人生
(上) 八月十五日「日本のいち
ばん長い日」反乱軍の放送許
さず 赤塚 康雄
戦時下の木津町民にきた通達(上)
一北大路町内会文書『通達綴』
(昭和十九・二十年)が映し出
す暮らし 青山由起子
地域社会と軍隊
一長池演習場について 仁張 真人
田原村の日露戦争(1) 宇治田原
町今西義彦家文書に見る軍人動
員 橘 尚彦
山城文学誌のあわさい(7) 八幡
宝青庵秘話一志賀直哉と吉井勇
のこと 古川 章
加茂町 北当尾「行者講」の記録
浦本 幹男
天井川「不動川」の堆積と地層の
形成について 堀井 篤
南山城水害を振り返って 二度と
惨事を繰り返さない! 和束町
での水害体験と復興の記録 前田 照男
南山城水害誌(高麗村にみる記録)
(3) 大西 康允
宇治 文学碑廻り(4) 小西 亘
南山城地域の仏像 参考文献集成
十三世紀の如来像 八田 達男

◆立命館平和研究
立命館大学国際平和ミュージアム紀要
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1

TEL075-465-8151 2000年創刊
www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇17 2016.3 A4 119p

加害と被害の重層構造—日本人の
戦争体験をとらえ直す 林 博史
永続敗戦レジュームと安倍政権 白井 聡
戦後祇園祭認識の変遷—月刊『京
都』、絵本『火の笛』から考え
る 鈴木耕太郎／谷本由美
終戦前後における陸軍兵籍簿減失
の原因とその類型化—連隊区司
令部における陸軍兵籍簿の大量
焼却のケースを中心に 近藤 貴明
国連平和大学の構想とその変遷を
中心に 浪指 拓央
『大槻隆資料』について 白木 正俊
私たちの手で世界を PEACE に
—立命館附属校戦後70年企画
立命館附属平和教育研究会
Swarthmore College Peace Colle
ction 山根和代／兼清順子
立命館大学国際平和ミュージアム
における資料整理と収蔵資料デ
ータベース 篠田 裕介
第二次世界大戦終結70年にあつ
ての声明 モンテ・カセム／安斎育郎

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 1993年創刊
www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇67 (23-3) 2016.3 A4 24p
ミュージアムの所蔵品(64)
進駐軍の方へ
『昴』を深読みしました 安斎 育郎
館長だより 環境観測と平和維持
の関係—「ティッピング・ポイ
ント」と「強靱力」の概念を起

点にすると モンテ・カセム
ここが見どころ 平和への努力 山根 和代

◆池田郷土研究 池田郷土史学会
〒563-0058大阪府池田市栄本町9-1
池田市コミュニティセンター いけだN P
Oセンター内 年3000円 1956年創刊

◇18 2016.4 B5 88p
池田の仏像美術 吉原 忠雄
秦氏についての考察Ⅰ・Ⅱ 松下 煌
北撰における金輪伝説 室田 卓雄
大廣寺望海亭碑文小考 吉田 靖雄
かわりゆく神田 八木 伊平
室町の沿革 別所 正史

◆泉佐野の歴史と今を知る会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇340 2016.4 B5 12p
長滝の中世史(1) 井田 寿邦
蟻通神社有形文化財登録記念事業
第2回 ありとほし薪能公演報告
書(3) 北山 理
和泉の中世城郭(41) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(17) 中野 恒一
新刊 史料集 泉州佐野村の土地
関係諸帳簿 近世前期編1 井
田寿邦編

◇341 2016.5 B5 12p
戦国期～近世初期の淡輪氏の系譜
に関する史料—『淡輪録』の「我
等先祖并奉公之次第覚書」 廣田 浩治
長滝の中世史(2) 井田 寿邦
蟻通神社有形文化財登録記念事業
第2回 ありとほし薪能公演報告
書(4) 北山 理
たそがれの泉州弁(18) 中野 恒一

滝畑報告(1) 事務局(HN)

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com

◇379 (33-3) 2016.3 B5 8p
巻頭言「神のおやしるのこと」(6)
「神社最大の謎 鳥居」 和久 敦也
平成28年2月例会報告(第354回)
「海外を夢見た戦国大名」—亀井
琉球守 片倉讓氏 (中澤)

「二月例会の報告を終えて」
—おわびとお知らせ 片倉讓氏
会員講座・第19回「江戸時代の子
育て」 磯崎素子氏 (中澤)

◇380 (33-4) 2016.4 B5 8p
巻頭言「神のおやしるのこと」(7)
「続・神社最大の謎 鳥居」 和久 敦也
平成28年3月例会報告(第354回)
「チンギス・カンの建国を助け
た東西事情」 松田孝一氏 (和久)

◇381 (33-5) 2016.5 B5 8p
巻頭言「神のおやしるのこと」(8)
「神社の守護神 狛犬」 和久 敦也
平成28年4月例会報告(第356回)
「門人西村履三郎から見た大塩
の乱」 森田康夫氏 (リポート・安居隆行)
会員講座・第20回「地図で見る大
阪」 和久敦也氏 (報告・和久敦也)
特報 松坂名誉会長が新聞社の文
化賞を受賞

◆かいづか文化財だより テンプス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇58 2016.3 A4 8p

水間街道沿いの道しるべ その1
水間街道道標1(海塚)／水間街
道道標2(鳥羽)／水間街道町石3
(鳥羽)／水間街道道標3(麻生
中)／水間街道町石2(麻生中)
平成27年度の埋蔵文化財調査 千
石堀城跡の調査／丸山古墳の埴
輪 新たに1個体分を復元
古文書をひも解く「齋原村絵図」
からわかる当時のようす
貝塚寺内町の春のひな人形が彩り
ました—春の町家の雛めぐり

◆家系研究 家系研究協議会
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 1981年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/

◇61 2016.4 B5 84p 1200円
讃岐の香西一族の動向(下) 宝賀 寿男
儒学者安原霖寛貞平一族の家系と
出自 安原 繁俊
珍姓のルーツ(26) 中田みのる
肥後(熊本藩士)の山形氏について

(4) 相良 一夫
肥前の相良氏について(5) 相良 一夫
西国街道(3) 須貝 隆弘
比留間氏のあゆみ—是政・比留間
氏編(東京都府中市) 比留間和憲
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話
刀鍛冶の里(7-3) 浪平 博司
『古事記が紡ぐ—ノ宮の神々』序文

川村 一彦
表紙家紋「五つ捻じ蛇の目紋」 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家

1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇56 2016.4 B5 8p
今年はどうなる 馬原 浩一
家系研究協議会 平成27年度 冬の例会報告 真田信繁と大坂の陣 安居隆行氏/馬原浩一氏

◆河内長野市郷土研究会誌
〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11
椋本進方 TEL0721-52-3394 年3000円
1979年創刊
◇58 2016.4 B5 108p
鐘撞き「かねつき」 浅井 五郎
もう一つの谷家 松尾巴瑠美
昭和29年発行「市制記念・河内長野市史」について 松本弘(裕之)
錦織神社秋季大祭の地車陳列と祭礼の変容(2) 伏井 邦彦
石川辺で行われていた石合戦について一富田林地域について 玉城 幸男
鬼住村研究 中世鬼住惣の住民たち 工房鬼住・中筋喜春(喜昭)
『谷氏徳恵傳』についての考察 川中ひとみ
ぶらり…舞鶴引き揚げ記念館…見て歩き(ユネスコ世界記憶遺産—2015年10月認定) 井上 元良
田中喜久三編輯の「大阪府下農村民謡集」について 松本弘(裕之)

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円
◇797 2016.4 A4 8p 300円
平群谷の古代史と遺跡 松田 真一
斑鳩の里をめぐって 森下 恵介

◇798 2016.5 A4 10p 300円
塔と楼閣(2)
一大徳寺と醍醐寺を訪ねて 矢ヶ崎善太郎
なら氷室社の創建と平城京 大宮 守友

◆近畿民俗 近畿民俗学会
〒569-0055大阪府高槻市西冠2-5-5
伊藤廣之方 TEL072-661-0873 年5000円
1949年創刊
◇182 2016.3 A5 48p
修験と係わりのある製菓と売薬について一特に、民間薬を中心に
して 大森 恵子
村方にある御朱印寺院と上地令 奥山 芳夫
想い出の記 柏原夫佐子
宮本常一の環境論 伊藤 廣之

◆堺研究 堺市立中央図書館
〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1
堺市立中央図書館総務課図書館サービス係
TEL072-244-3833
◇38 2016.3 A5 102p 670円
近世堺と芝居小屋の変遷
一定芝居を中心に 齊藤 利彦
明治二十年『尋常小学校授業法』(錦小学校史料)について一現職
教員一同による道徳教育論、教科教育論 和田 充弘
河内国丹南村の年貢について 岡田光代/大久保雅央

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.ip/kojyo_tomonokai/
◇568 2016.4 B5 22p
3月・第629回例会の報告 山城
静原城(城谷山・シロヤマ)を訪

ねて 資料 中西 徹
安芸吉川氏城館跡をめぐって
(承前) 日山城跡 国史跡 川端 義憲
念願の鉢形城を見学です 水品 弘樹
別冊 第630回 平成28(2016)年4月3日 播磨 上月城を訪ねて
資料
◇569 2016.5 B5 30p
4月・第630回例会の報告
播磨 上月城を訪ねて 担当幹事:坂本昇・森田又一氏 坂本 昇
最近訪れた奈良・大阪の「陣屋」 木下 修二
京都北山の一乗寺山城と雲母坂
(きららざか)城を探访 川端 義憲
別冊 第631回 平成28(2016)年5月8日 真田幸村ゆかりの高野山と九度山を訪ねて 資料

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekish/
◇339 2016.4 B5 22p
山背の古道 中村 修
読書室 シリーズ「遺跡を学ぶ」
古市古墳群の解明へ 盾塚・鞍塚・珠金塚古墳 田中晋作)
京都宇治・黄檗の地を歩く 山口 久幸
◇340 2016.5 B5 20p
豊受大神宮の鎮座とその意義一五世紀末のヤマト政権と丹後 荊木 美行
安倍文殊院・メスリ山古墳周辺の史跡を巡る 古高 邦子

◆こうべ空襲だより
中田政子方
◇15 2016.3 A4 8p
お知らせ/刻銘追加式/野坂昭如

さん逝く
あれから70年—戦後70年特別企画
内橋克人講演会『戦後70年を抱きしめて』~「再びの暗い時代」を許さない
洲本市立津名中学校2年生校外学習「神戸空襲フィールドワーク」に協力しました 小城 智子
戦後70年「神戸空襲写真展~平和を願って」

◆生活文化史 史料館だより
神戸深江生活文化史料館
〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7
TEL078-453-4980 1981年創刊
homepage2.nifty.com/fukae-museum/
◇44 2016.3 B5 20p
本庄村誌囁託 松田直市について 大田正美/樋口元巳
ひょうごミュージアムフェア
二〇一五 史料館
深江の村有井戸とNHKドラマ「マッサン」 深江 塾
深江物語(6)
昭和20年代の深江浜を歩く(4) 森口 健一
トライやるウィークと史料館 史料館
二〇一五年度のWEBサイトアクセス状況 高田 祐一
再び史料館にかかわって 潮崎 孝代

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇69 2016.3 B5 6p
比売許曾神社の祭神は下照比売神ではない 熊谷 保孝
史料紹介 赤穂義士に賜った『明治天皇宣旨』の写しについて 廣瀬 明正

◆西宮市立郷土資料館ニュース

〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
TEL0798-33-1298 1987年創刊
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/

◇44 2016.3 B5 8p

武庫郡大社村広田の京屋治兵衛と
万石通し 細木ひとみ
生瀬地区旧蔵石造資料について 西尾 嘉美

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321

◇577 2016.4 B5 8p

かす汁(粕汁) 父からの伝承 堀内 陽光
「西宮」保存箱、玉手箱 二八一情報公開課
資料より 三線軌条 豊田 みか

◇578 2016.5 B5 8p

世界を行脚する西宮のえびすかき
カンボジアでえびす舞
人形阿芝居座座長 武地秀実

「西宮」保存箱、玉手箱(29)一情
報公開課資料より 阪神西宮東
口駅地下道 豊田 みか

◇579 2016.6 B5 8p

いかなご(かますご)
父からの伝承～ 堀内 陽光
「廣田神社正式参拝と社宝剱珠拜
観」スケッチ 江崎健一郎

「西宮」保存箱、玉手箱(30)一情
報公開課資料より 情報公開課
資料より 豊田 みか

西宮神社 境内末社松尾神社
狛犬 西宮文化協会事務局

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊

◇315 (55-2) 2016.4 A5 49p 600円

《特集 知られざる鉄道と通信の歴史3》
石田太郎文書と兵庫県の弾丸列車
ルート考 大島 貴之
旗振り山と航空灯台(補遺) 柴田 昭彦
六甲山登山路名称考(1)
一落ちこぼれ集・登山道整備 坂下 博也
奉書文言としての「仍執達如件」
一織田信長禁制を素材に 依藤 保
兵庫の庭園再訪(9) 旧益習館庭園 西 桂

わが神職累代の記(13) 自分のこ
と(1) 神職になるまで一不良
息子の育て方 上村 武男
江戸川柳による「平家物語」(1) 石川 道子
新聞地域版を読む 神戸新聞の文
化財記事(13年6月21日～7月11
日) 大國正美/有吉康徳

◆秋篠文化 NPO法人奈良芸能文化協会
〒631-8511奈良市西大寺東町2-4-1 ならフ
ァミリー6階 秋篠音楽堂運営協議会
TEL0742-35-7070 2003年創刊

◇10 2016.2 A5 162+90p
《特集 大和のわらべ歌》
第10号発刊に際して 西口 廣宗
わらべ歌の概念と歴史について 井口はる菜
音楽から見た大和のわらべ歌 久保田敏子
大和のわらべ歌の分類と定義 井口はる菜
大和のわらべ歌分類表 井口はる菜
大和のわらべ歌の歌詞一覧
久保田敏子/井口はる菜
牧野英三先生の民謡調査 岩坂 七雄
資料

記録された大和のわらべ歌一覧
久保田敏子/井口はる菜
添付CD収録内容一覧 久保田敏子
縮小複製資料 『大和のわらべう

た一資料一』 著者: 牧野英三
/発行: あこや楽器店
付録CD 牧野英三蒐集音源によ
る「大和のわらべ歌」

◆奈良学研究 奈良学学会

〒631-8501奈良県奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1997年創刊

◇18 2016.2 A5 109p

南都の三月節供および矢田地蔵開
帳と法華経信仰 赤田 光男
奈良時代の「経箱」に関する私考
関根 俊一

奈良県生駒市高山町の人生儀礼に
関する民俗誌 高田 照世
若王寺智証大師像と伯千光眼寺一
中世南山城南部地域における天
台寺門の痕跡をめぐって 杉崎 貴英
平城京左京三坊から見える護り
一発掘調査から見えるもの 甲斐 弓子

◆日本文化史研究 日本文化史学会
〒631-8501奈良県奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1977年創刊

◇47 2016.3 A5 106p

南都の仏生会と夏中舎利講および
五月節供 赤田 光男
蟹満寺の造営主体について
一蟹満寺の研究史を踏まえて 戸花重利州
松尾大社三神像ノート
一研究史を中心に 杉崎 貴英
山と共に生きる民俗史 裏 直記
大英博物館所蔵の金銅製透かし彫
り金具調査簡報 牟田口章人
凡そ事の参差に多く詐事あり一奈

良時代の材木運漕に関わる小事
件について 鷲森 浩幸

◆年報 香寺町の歴史 香寺町史研究室
〒679-2131兵庫県姫路市香寺町犬飼464-1
犬飼公民館別館 TEL079-280-6665

◇10 2016.3 B5 52p

地域史研究と地域づくりー加古川
市別府町新野辺での実践から 羽田 真也
研究発表会

平成27年度研究発表会 駒田 新安
溝口の歴史マップをつくる 鎌谷 博善
『大字誌 高野の風』を刊行して
藤田 正男

地域探検で、地域のよさを再発
見! 香呂小学校 藤東瑞己
研究発表を聞いて 中安 清行

歴史研究会事業報告
町内巡検 田野地区 藤田 正男
町内巡検に参加して思ったこと 駒田 新安

土師 資料展示会を開催して 小原 康彦
須加院の歴史

極楽寺三堂について 中塚 琢三
第14回歴史文化をめぐる地域連携
協議会に参加して 市場 郁也

まちづくり地域歴史遺産活用講座
を受講して 神崎 茂樹
姫路市合併10年を振り返って 明星 明秀

地域の歴史を調べる楽しさ
一町史研究室事業報告
文献紹介 奥村弘「歴史資料の保
全と活用ー大規模災害と歴史

学」(『岩波講座 日本歴史』第
21巻『史料論』、2015年) (大概)

◆熊楠研究

南方熊楠顕彰会
〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36

南方熊楠顕彰館内 TEL0739-26-9909
 1999年創刊 www.minakata.org
 ◇10 2016.3 A5 294p 3000円
 特集1 神社合祀反対運動再考
 特集にあたって 畔上 直樹
 神社合祀反対運動研究の現状と
 問題点—「エコロジー」を中
 心に 武内 善信
 神社合祀と神社合祀反対の間に
 あるもの—熊楠研究の問題点
 原田 健一
 「鎮守の森」をめぐる顕彰と検
 証—明治神宮史研究のフィー
 ルドから 今泉 宜子
 シンポジウム・コメント 田村 義也
 特集2 英文論考研究の新展開
 南方熊楠 英文論考研究の新展
 開—はじめに 志村 真幸
 長編英語論文に基づく南方熊楠
 の学的方法論の検討—いわゆ
 る「事の学」の解明に向けて
 嶋本 隆光
 『郷土研究』と甲寅叢書—南方
 英文論考と日本の民俗学 菊地 暁
 南方熊楠の『ノーツ・アンド・
 クリエーズ』誌への投稿(2)
 —1916年～1933年 志村 真幸
 南方熊楠と『甲斐昔話集』—「泡ん
 ぶくの敵討」をめぐる 一條 宣好
 土宜法龍と「事」ども—真言教学
 からの「事の学」再検討のこ
 ろみ 小田 龍哉
 南方熊楠の因果論とハーバート・
 スペンサー—土宜法龍往復書簡
 に見られる議論を通して
 サライ・ペーテル
 資料紹介 南方熊楠顕彰館蔵、南
 方熊楠・岡茂雄往復書簡資料に

ついて(承前)
 広川英一郎・岸本昌也・田村義也
 書評 唐澤太輔『南方熊楠—日本
 人の可能性の極限』 松居 竜五

◆熊歴情報 熊野歴史研究会
 〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
 新宮市役所商工観光課 山本殖生
 TEL0735-23-3333 年3000円

◇200 2016.3 B5 2p
 徐福講演会 3月17日(木)／『熊野
 参詣道調査報告書』の編集(報
 告)／『熊野歴史研究』21号

中国・四国

◆北東アジア文化研究
 鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
 〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
 TEL0858-26-1811 1995年創刊
 www.cygnus.ac.jp/local/asia.html

◇41 2016.3 A5 70p
 公立保育園における非正規保育者
 —A市の事例をもとに 植木 洋
 民話「桃太郎」を考える 酒井 董美
 明治政府の竹島＝独島調査 朴 炳涉

◆大社の史話 大社史話会
 〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
 稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
 1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp
 ◇186 2016.3 B5 48p
 出雲大社の建造物シリーズ(2) 出
 雲大社銅鳥居の保存修理工事に
 ついて—鑄造の銅鳥居
 (公財)文化財建造物保存技術協会
 『出雲国風土記』にみえる「黄泉
 の穴」 佐藤 雄一
 出雲地域の歴史と文化(10) (出雲

平野) 出雲の国の土と風(後編)
 —江戸初期の斐伊川左岸の土工
 史 落合 久栄
 大社の石造物(2)
 —遙堪地内にある道標 藤原 慧
 出雲大社祖霊社境内の忠魂碑建設
 および撤去次第 花谷 浩
 日置風水の紀行文『隠岐のすさび』
 を読む(12) 山崎 隆司
 消えゆくもの(50)
 —いも蔵の思い出 春木 芳子
 特別展 遷宮—受け継ぐことと
 かたち・増補行仁「神の宮」—
 の開催
 古代出雲歴史博物館(文責・品川知彦)
 出雲弥生の森博物館 特別展
 「出雲王登場—とことん解剖
 西谷3号墳」
 出雲弥生の森博物館(文責・坂本豊治)
 手銭記念館の四季「婚礼」出雲
 今昔—手銭家萬日記から見る江
 戸時代 佐々木杏里

◆宇喜多家史談会会報
 〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
 光珍寺内 TEL086-222-2028
 年2000円 2002年創刊
 ◇58 2016.4 A4 10p
 平成28年度宇喜多家史談会総会記
 念講演 信長のみた直家と秀吉
 が育てた秀家(前) 皆木としあき
 八丈島の宇喜多孫九郎 大西 泰正
 黒田勘十郎再現(承前)「出雲黒
 田家」の菩提寺を訪ねて
 黒田一紀／黒田康照
 物語直家記伝 西大寺辺の城
 第29回 自立(6) 山重十五郎
 平成27年度 宇喜多家史談会総会

報告 石渡 隆純

◆岡山地方史研究
 〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
 村上岳方 TEL086-942-6156
 年1500円 1986年創刊
 homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
 ◇138 2016.4 B5 30p
 文禄四年豪姫「狐憑き」騒動の復
 元と考察 森脇 崇文
 史料紹介 赴任する倉敷代官に伝
 えられた内々の情報について 山本 太郎
 書評 「いのち」の視座と全体史
 の構想—倉地克直『「生きるこ
 と」の歴史学』を読む 大川 啓
 歴史談話室 鎌倉時代の御家人窮
 乏問題と来納—2015年東大入試
 問題第二問の分析 辰田 芳雄

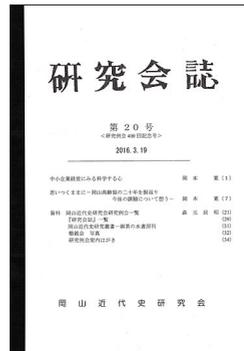
◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から
 岡山県郷土文化財団
 〒700-0813 岡山市北区石関町2-1 TEL086-
 233-2505 1982年創刊
 ◇35 2016.3 A5 216p
 自然災害への備えについて 松尾 茂樹
 中世荘園の世界
 —新見荘と東寺百合文書 辰田 芳雄
 倉敷市所蔵「薄田泣菫文庫」資料
 をめぐって 加藤美奈子
 第13回おかやま県民文化祭参加
 第5回 おかやま文化フォーラ
 ム「今、中世の実像を求めて
 信仰世界の「こころ」と「か
 たち」」
 基調講演「中世仏教とその信仰」
 平 雅行
 事例発表「中世吉備における寺
 社の形成と秩序—備後国を例

に― 苺米 一志
事例発表「古い、呪い、祈禱する―中世宗教者に求められた仕事―」 中田利枝子
パネルディスカッション「今、中世の実像を求めて 信仰世界の「こころ」と「かたち」 久野修義／平雅行／苺米一志／中田利枝子

◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市北区石関町2-1
TEL086-233-2505
◇141 2016.3 A5 14p
歴史的遺構を活かした百間川の改修について 藤兼 雅和
朝鮮通信使記録をユネスコ記憶遺産に 倉地 克直
岡山の人物 松田元成 乗岡 実
岡山の自然
今年の干支サルにちなむ植物 狩山 俊治
岡山の文化財
三つの前川國男建築 山田 孝延
わが町・わが村の自慢 文豪・谷崎潤一郎疎開の地の石碑（真庭市勝山）
ふるさとの想い出 謎とロマンあふれる「秦の郷」へ（総社市）
我が町シリーズ
スケッチ紀行(2) 寺西 正文

◆研究会誌 岡山近代史研究会
〒701-2141岡山市北区牟佐1137-7
TEL086-229-1436
◇20 2016.3 B5 46p
《研究会誌400回記念号》
中小企業経営を科学する心 岡本 寛
思いつくままに―岡山高齢協の二

十年を振り返り 今後の課題について想う 岡本 寛
資料
岡山近代史研究会研究例会一覧 森元 辰昭
『研究会誌』一覧
岡山近代史研究叢書
―御茶の水書房刊
岡山近代史研究会 懇親会写真
研究会案内はがき



* 岡山近代史研究会の研究例会は、1976年12月の「資本主義確立期における資本主義と地主制―シンポジウム日本歴史19」日本の産業革命を手がかりに―」を第1回として、本年7月で411回を数える。この度、研究会400回記念して「研究会誌」第20号が刊行された。会誌創刊は1978年であるが、本号は実に7年ぶりになる。印刷・製本は手づくりで、限定100部、会員配布の残部は執筆者に渡しているため、1号から20号までが揃うのは、岡山大学附属図書館と岡山県立図書館のみであるという。しかし、40年で研究会400回という重みとともに、ガリ版で刷った時代の痕跡と思われるタイトル文字や、素朴な体裁にどこか温かみを感じさせられる。同会ではこの他に、御茶の水書房から研究会叢書として押立春樹『近代岡山県地域の都市と農村』

(1993)など3冊と、同会独自に、熊谷正文『わが国近代漁業の地域的展開』(1999)など4冊を刊行している。着実な継続を祈念する次第である。

◆芸備地方史研究

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
◇300 2016.4 A5 225p 1800円
《芸備地方史研究第300号記念
特集 芸備の人物》
特集にあたって 下向井龍彦
三谷郡司の先祖と百済僧弘濟一古
代の戦争を生きた人々の苦難と
亡命僧の地域社会への貢献 下向井龍彦
品知牧人と穴君弟公・秋丸
―深津市の交易に集った人々 渡邊 誠
物部多能と佐伯那賀女―芸備地方
出身の下級官人・女官 渡邊 誠
吉弥侯部佐津古・軍麻呂
―安芸国のマイノリティ 菊池 達也
伊福部五百足、同姓豊公、若桜部
継常―「富豪層」の台頭 今 正秀
三善信職―安芸国衙在庁・田所執
事職の相伝 渡邊 誠
佐伯景弘―厳島神社の未来を切り
開いた男 松井 輝昭
源頼信―安芸国高田郡三田・風早
郷の伝領過程 畑野 順子
沼田次郎―芸予地域の源平合戦と
西国武士 齋藤 拓海
葉山城頼宗―源平合戦と安芸源氏
齋藤 拓海
安芸・備後の楽人
―音楽芸能の都鄙間交流 山本 佳奈
向島(歌嶋)の人々―「反古裏経」か
ら見えてくるもの 松井 輝昭

「草戸千軒」をめぐる人々―常福
寺の住持・沙門頼秀とは 鈴木 康之
山名刑部少輔持照―備後版「永享
の乱」、悲運の将 谷重 豊季
権肖得巖・季照中明・文溪元作・
季昭等麟―備後宮氏出身の五山
僧たち 谷重 豊季
因島村上氏
―海賊衆の活動範囲を中心に 山内 譲
道本と尊海―厳島・大願寺の住持
大知 徳子
毛利隆元一名将の子には不運の者
秋山 伸隆
口羽通良
―毛利氏「御四人」の一人 中司 健一
吉川元長―戦国武将の人物像 木村 信幸
嘯岳鼎虎―毛利元就の菩提寺洞春
寺の開山 本多 博之
佐世元嘉―豊臣期広島留守居 光成 準治
浅野長晟―広島藩の礎を築く 落合 功
大慶―「考証の時代」の真宗学僧 引野 亨輔
頼杏坪―精勤の人 花本 哲志
無名行脚鬼堂改め梅窓
―芸備地方の文人と俳諧行脚 河宮 正至
褒められた人々
―広島藩の善行褒賞から 棚橋久美子
頼津庵と父山陽
―近世広島 of 儒学者 荒木 清二
末田重邨―咸宜園教育の導入 鈴木 理恵
芸北山県郡の鉄師
―製鉄業と地域の担い手 山崎 一郎
港町の遊女
―若に魅せられた白拍子 片岡 智
賀屋鎌子
―才女から女性社会活動家へ 西村 晃
富田久三郎―備後緋の創始から地
場産業へ 山名 洋通
信岡錦―農村社会事業の先駆者

平下 義記
八田新七・謹二郎・徳三郎
—広島島の“山林王” 西向 宏介
保田八十吉
—社会に貢献する財界人 西村 晃
木村静彦—酒都西条の生みの親 石田 雅春
玉木伊之吉—広甘藍生みの親 小栗 康治
渡邊彌進
—広島洋楽普及の立役者 能登原由美
高野源進
—原爆投下時の広島県知事 安藤 福平
田中嗣三—戦後広島初のドキュメ
ンタリーグラフ発行者 西向 宏介
金井利博—原爆を告発したジャー
ナリスト 富沢 佐一

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net

◇189 2016.4 A4 26p
宮下野守家 歴代官途名の謎 田口 義之
中世石造物の調査報告／山手銀山
測量調査報告
地形から吉津川の成立を検証す
る(1) 尾根を流れる川・潮の
差引する川 瀬良 泰三
御尋申上候
道路元標 探しています 岡田宏一郎
田口義之の備後山城50選 見事な
土塁と横堀が残る山城 要害山
城跡
備後の辻堂の名称に関する考察 田口 由実
大分便り 第一回笑心サロンま
ちなか誕生祭 後藤 匡史
感謝 御礼 徒歩例会
高山城跡見学探訪 末森 清司
近世福山の歴史講座
福山城下町(5) 高木 康彦

四月バス例会「備北紀行」に寄せ
て(6) 稲葉 泰造
水野十郎左衛門の灯籠 根岸 尚克
春を告げる里山・総領町 山口 哲晶
備後の道を歩く(6) 続・松永、尾
道の道標・辻堂など(後) 岡田宏一郎
1枚の写真から 鎌倉期 山野町
のロマンス! 文・写真 山本典子
彦根の山城 荒神山 末森 清司
辻堂百景(6)
福山市駅家町日和「地藏堂」 秋山 由美

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32
鈴木方 年3600円

◇301 2016.4 B5 12p 100円
歴史に学ぶ野生生物との共存 行長 啓三
隆景公の影を慕いて(4) 福岡 幸司
三原と渡り鳥(2) 三好 邦範
三原(旧)一周藤栗毛に参加して
(第三コース) 桧山 幸三

◇302 2016.5 B5 12p 100円
すずらん燈が輝いていた頃 正田 哲夫
湯河原町研修旅行を終えて
創立25周年記念研修旅行 小早
川家初代当主 土肥実平の里
「湯河原町をたずねる」を終
えて 鈴木 健次
湯河原町見聞 大坪 一夫
湯河原町を訪ねて 川上 哲司
三原の殿様狩りにお越し(藤原一
三「甲奴郷土史だより」第11号
2015年5月 甲奴郷土史研究会)
鈴木 健次

◆伊予史談 伊予史談会
〒790-0007愛媛県松山市堀之内
愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇381 2016.4 A5 49p 750円
愛媛県出土三足壺関連資料と若干
の考察 善永 光一
天正期芸土予提携に関する一考察
—石谷家文書を基に 桑名 洋一
史料紹介
松平定実関係文書について—大
坂夏の陣に関わる新史料 井上 淳
「谷村元珉純甫日記」(谷村英彦
編) 高須賀康生
第8回四国地域史研究協議会(高知
大会)参加報告 永井 紀之
郷土その日その日 編集部(袖山俊夫)

◇382 2016.7 A5 49p 750円
特集 伊予における中世の終焉と
近世の成立
小早川氏の伊予入部と地域領主
光成 準治
土佐一条家にみる中世伊予の終
焉 津野 倫明
伊予松山城天守考
—寛永国絵図を素材として 藤田 達生
山城めぐりの楽しみ 野上 完治
新刊紹介 光成準治著『毛利輝
元』、芳我明彦著『シリーズ藩
物語 大洲藩・新谷藩』 編集部

◆四国遍路と世界の巡礼
愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡
礼研究センター
〒790-8577愛媛県松山市文京町3
TEL0898-9278-9312 2016年創刊
henro.ehime-u.ac.jp

◇1 2016.3 A4 66p
刊行の辞 寺内 浩
記念講演
四国遍路と弘法大師信仰 大石 雅章
国際シンポジウム

フィリピンにおけるローマ・カ
トリック教徒による聖週間の
巡礼 ジュリアス・パウティスタ
世界の視点から見た四国遍路の
魅力:西洋人遍路を例として
モートン常慈

特集「近現代の四国遍路」
「四国徧禮道指南」における聖
地の景観 稲田 道彦
戦争と四国霊場・遍路
—高知の事例 小幡 尚
植民地台湾の四国八十八ヶ所写
し霊場 中川 未来
文学や漫画から見る近現代の遍
路 青木 亮人
近現代の四国遍路研究によせて
上野 進

◆海南千里 土佐山内家宝物資料館だより
〒780-0862高知県高知市鷹匠町2-4-26
TEL088-873-0406 2000年創刊
yamauchi-zaidan.jp

◇48 2016.3 A4 10p
緋羅紗地 大に渦巻文様切付陣羽
織 桃山時代 丈115cm×肩幅
56cm 伝毛利勝永所用 古賀 康士
歴史になる今 渡部 淳
資料館二〇年の歩み—「展示事業」
振り返って ①常設展示/②特
設展示/③企画(特別)展示 尾本 師子
山内家資料と新しい博物館 山内 豊功
御道具根居をよむ(9)
「鏡と鑑定セリ」 尾本 師子
新 研究の手引
江戸時代の物価を調べるには 古賀 康士
整理と保存(48) 新博物館への資
料移転に向けて 田井東浩平
古文書への招待 受け継がれる海

防体制～参勤交代との関連性 富井 優
土佐史の人々
山内倫氏(1657～1709) 富井 優
古文書基礎知識 廃棄と再利用 藤田 雅子
土佐の○ 地域とともに 新博物
館での事業展開にむけて 横山 和弘
お世話になった人々 布師田地区
・歴史環境委員会の皆さん 筒井 聡史
「高知城歴史博物館 開館に向けた
広報」 大保 和巳
まなびのひろば 体験！発見！日
本の伝統文化～花道/Japanese
Cultural Experience～弓道 中屋 真理
高知城歴史博物館の開館に向けて
大保 和巳
路傍の地藏尊 高知市布師田 渡部 淳

九州・沖縄

◆九州史学 九州史学研究会
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375 1956年創刊
www.2lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
◇172 2016.3 B5 76p
七世紀の日本における中国思想の
受容と『管子』一憲法十七条・
時令思想・鐘匱の制を中心に 山下 洋平
藩主神格化と神社—福岡藩主黒田
氏と筑前黒崎春日宮・宮司波多
野氏との関係をめぐって 田中由利子
書評
細井浩志著『日本史を学ぶため
の〈古代の暦〉入門』 坂上 康俊
松田好史著『内大臣の研究 明
治憲法体制と常侍輔弼』
原口大輔／山縣大樹／林義大
／前田修輔／小倉徳彦／小林
篤正／韓相一／山口輝臣

◆太宰府市公文書館報
〒818-0110福岡県太宰府市御笠5-3-1
TEL092-921-2322 2015年創刊
◇27年度 2016.3 A4 57p
*事業報告のみ
◆太宰府市公文書館紀要 年報太宰府学
〒818-0110福岡県太宰府市御笠5-3-1
TEL092-921-2322 2007年創刊
dasaifu.mma.co.jp
◇10 2016.3 A4 86p
インタビュー 倉庫から中間倉庫
へ—太宰府市現用文書保存・整
理の取り組み 話者：百田繁俊
・高原寿子
太宰府市役所組織変遷図
旧太宰府町・水城村議会議事録細
目録 1
吉網家資料目録
大宰府原山年表—古代・中世編
川添昭二・重松敏彦共編
幕末の太宰府と五卿の西遷—太宰
府の「五卿関係遺跡」の再検討
竹川 克幸
太宰府の絵師吉嗣拝山の清国渡航
について 重松 敏彦
◆幕末佐賀科学技術史研究
平成24年度科学研究費補助金(基盤研究B
一般)研究代表者 脇田久伸／幕末佐賀研究
会 〒840-0831佐賀市松原2-5-22 徴古館
TEL0952-23-4200
◇9 2016.3 A4 56p
幕末期における書の変遷 中山 博智
アームストロング砲と佐賀施條砲
開発について 古賀 利幸
幕末以来、日本における漢字研究
の管窺—字素「辛」を例に、そ

の認識の史的展開を論ずる 中山 博智
◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇205 2016.3 B5 20p
木造如來形坐像 志佐 惲彦
追悼 富岡行昌さん
(前松浦史談会会長)
弔 辞 志佐 惲彦
ほろ苦いコーヒーから始まった
因縁 佐々木市太郎
鎮西町発展は先生がおらしたけ
ん 熊本 典宏
笑顔を絶やさずに適切なアドバ
イス 金子 信二
図書館の資料公開に尽力、研究
を後押し 中里 紀元
富岡行昌先生の思い出 馬場 良平
佐賀新聞も追悼記事で幅広い功
績を評価 日高 勉
紀伊藩の寺沢旧家臣 寺沢 光世
末盧も百済王衛送の軍士を付けた
? 堀川 義英
戦後七〇年郷土史の視点 肥前松
浦を西の焼物大国にした朝鮮陶
工の貢献と女たち(上) 中里 紀元
古代から明日に繋ぐ 武寧王陵出
現(4)—加唐島から百済二五代
王へ 武寧王陵出現を検証する
熊本 典宏
唐津城築城の謎を解く(1)—唐津
城跡本丸文化財調査の成果から
坂井 清春

◆鹿児島民具 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島県鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775

年4000円 1950年創刊
◇28 2016.3 B5 128p
《金峰町特集号》
序文 南さつま市金峰町の民具調
査に寄せて 下野 敏見
あるシャーマンの神殿と箕の製作
下野 敏見
金峰町特集
民具から見える地域の昔と今 有村 澄子
南さつま市金峰町の棒踊り 井上 賢一
金峰地区の田の神石像 小島 摩文
中津野のウマゴヤに残る農具—
耕耘、収穫・脱穀・調整、運
搬、加工、牛馬、貯蔵具 坂元 恒太
旧金峰町の神社について 橋口 尚武
金峰町の古きを訪ねて 牧島 知子
金峰町の石塔 松田 誠
金峰山麓の岩窟について 宮下 貴浩
金峰山麓に見られる日向神話—
有形資料から見る霧島山岳信仰
森田 清美
阿多の伝統的民具—阿多タンコ・
阿多張りキセル 有村 澄子
霧島市牧園町横瀬地区の共浴場 牧 洋一郎
「鹿児島茶」とは? 川野 博志

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
1977年創刊
◇213 2016.3 B5 8p
3月定例会レジュメ 下里添の野
戦重火器秘匿壕群・与那浜崎の
砲台について 久貝 弥嗣
1月定例会まとめ 稲村賢敷の世
代計算「一世代二六年」説を検
証する 下地 利幸
2月定例会まとめ 沖縄の幼稚園

一戦後の公立幼稚園事情を背景
に
シンポジウム「宮古の先達・五人
の学識者達の業績・知的財産と
その継承」開かれる
アーグ アスピス
発掘調査速報 宮国元島遺跡
砂川元島遺跡の発掘調査から考
える
稲村賢教『倭寇史跡の研究』に学
ぶ(1)
「宮古農民弾圧事件」
「資料集」出版を祝う

新城 宗史
久貝 春陽
佐藤 宣子
久貝 弥嗣
久貝 春陽
下地 和宏
仲宗根将二

寄贈図書紹介

◆高麗神社史料集3 高麗家文書2
横田稔編 高麗神社社務所(〒350-1243 埼玉県日高市新堀833 TEL042-989-1403) 2013年11月 A5 404頁 非売品
平成28年(2016)に高麗神社の創建にかかわる高麗郡の設置から1300年を迎えるにあたり進められている「高麗郡建郡千三百年記念事業」社史編纂事業の一環としてまとめられる高麗神社史料集。2013年11月刊行の第2巻につづき、高麗神社および高麗家所蔵文書の中から、近世の「造営」と「勸化・寄進」に関する史料83点を収録する。序文(高麗文康)／史料造営・勸化 社殿造営・什物寄進(良範代、良厳代、良純代、正純代、明純代、衍純代、年未詳)／大般若経勸化(良厳代、良誉代、良純代、年未詳)／三十六歌仙額再興／解題(横田稔)／付録 高麗氏略系図、大宮寺住職(高麗家当主)一覽／あとがき(横田稔)
◆豊饒の房総 千葉県立中央博物館展示案内 千葉県立中央博物館編・刊(〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2 青葉の森公園内 TEL043-265-3111) 2015年3月 B5 62頁

平成元年(1989)2月7日に開館した千葉県立中央博物館の全貌を紹介した展示案内。千葉県立中央博物館について／利用案内／房総の大地一鳥の眼から見た房総半島／豊饒の房総一自然と人間の調和・共存の歴史／房総の地学／房総の生物／海洋／生物の分類／房総の歴史／自然と人間のかかわり／小動物展示室・体験学習室／生態園／房総の山のフィールド・ミュージアム／分館(分館海の博物館、大利根分館、大喜多城分館)

◆ひらかれる無形文化遺産一魅了の発信と外からの力 第10回無形民俗文化財研究協議会報告書

東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 無形民俗文化財研究室 TEL03-3823-4925) 2016年3月 A4 109頁

2015年12月4日に開催された第10回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。趣旨説明 ひらかれる無形文化遺産一魅了の発信と外からの力(今石みぎわ)／第一部 報告 壬生の花田植がユネスコ無形文化遺産になるまで一地域住民による保護と継承活動に着目して(松井今日子)、関川のしな織一地域活性と文化継承活動について(五十嵐千江)、八戸ポータルミュージアムはっちの取組み一シビックプライドの醸成と伝統文化継承について(柳沢拓哉)、沖縄からの発信一竹富島の種子取祭芸能の継承(狩俣恵一)、ご案内／第二部 総合討議 質疑応答、コメント(菊池健策・小岩秀太郎)、パネリスト(松井今日子・五十嵐千江・柳沢拓哉・狩俣恵一)、コーディネイタ(久保田裕道・今石みぎわ)、ディスカッション／参考資料 アンケート集計結果、協議会参加者一覽

◆震災復興と無形文化遺産をめぐる課題 無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究プロジェクト報告書

東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊(同上) 2016年3月 A4 64頁

平成23～27年度の中期計画に基づくプロジェクト「無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究プロジェクト」報告書。また東日本大震災後に立ち上げた「無形文化遺産情報ネットワーク協議会」の活動も併せて収録する。刊行にあたって(無形文化遺産部)／研究組織／3.11震災復興支援・無形文化遺産情報ネットワーク協議会報告 震災復興と無形文化遺産をめぐる課題／無形民俗文化財研究協議会の5年／プロジェクト事業概要報告 無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究 2011～2015／調査写真

◆中島信行と俊子 民権ブックス29 町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会(〒195-0063 東京都町田市津田町897 TEL042-734-4508) 2016年3月 A5 95頁

2015年度第1回特別展《中島信行と俊子～自由をつむいだ夫婦の肖像～》の記録／記念講演 I 明治のリベラリスト 中島信行(横澤清子)／記念講演 II 湘煙とその時代一岸田俊子の実像を探る(関口すみ子)／史料紹介 中島信行・中島俊子の書簡(松崎稔・井上茂信)

◆相模国鎌倉郡小塚村「御用留」(9) 一明治7年(上) 藤沢市史料集39 藤沢市文書館編・刊(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2015年3月 A5 141頁

2008年3月刊行の藤沢市史料集第32集に引き続き、旧相模国鎌倉郡小塚村の「御用留」(彦坂増蔵家文書)のうち、明治7年の前半期4冊分を収録する。明治7年1月「御布告其他御触書写留□」1～21／明治7年1月「(御用雑書)」22～137／明治7年2月「(御用留)」138～215／明治7年6月「(御用留)」216～258

◆相模国鎌倉郡小塚村「御用留」(10) 一明治7年(下) 藤沢市史料集40

藤沢市文書館編・刊(同上) 2016年3月 A5 155頁

藤沢市史料集第39集(2015年3月)に引き続き、旧相模国鎌倉郡小塚村の「御用留」(彦坂増蔵家文書)のうち、明治7年の後半期4冊分を収録する。明治7年8月「御布達雑誌」1～113／明治7年10月「諸御用紙忘記」114～233／明治7年12月「御触達其他雑記」234～285／明治7年1月「(御用留)」286～307

◆散歩名人 in 藤沢 藤沢市史ブックレット7 佐江衆一著 藤沢市文書館(同上) 2016年3月 A5 122頁

(続)藤沢市史編纂にあたって市史の内容をわかりやすく紹介するブックレットの第6冊。30年前に出版した『藤沢さんほみち』を全面的に書き直して、藤沢市域の散歩道25コースを紹介する。舟地藏から大庭城跡／遊行寺と藤沢宿／秋の遊行寺と「一ツ火」／踊り念仏もきこえる江の島道／龍口寺界隈／文豪たちの鶴沼の東風／鶴沼の尼寺と作家の阿部昭／江島神社と江の島／石川の節婦梅をさがして／伊勢山の桜と白旗神社／江ノ電、踏切のある風景／片瀬川遺道／新林公園から片瀬山公園へ／別世界への散歩、新江ノ島水族館／古藤沢人と川名御霊神社／初夏の轟耳記念広場と辻堂海浜公園／初夏の旧大古道／諏訪神社の大祭と娘の太鼓／江の島マイアミビーチの夏／鳥森神社のいつとき祭り／花応院と小栗判官伝説と警女淵／お客と小鳥の去ったあと／宝泉寺と小出川の彼岸花／辻堂古道／葛原のお見合い競馬

◆歴史をひもとく藤沢の歴史 1御所見地区 藤沢市文書館編・刊(同上) 2016年3月 A4 98頁

1967年から始まった藤沢市史編さん事業の成果として刊行された『藤沢市史資料所在目録稿』1～25(1969年～1994年)などをふまえて、地区別にまとめられた史料目録集第1集。空

から見た御所見地区／絵図・地図から見た御所見地区／絵図・地図目録／御所見の写真／地誌にみる御所見の寺社／数値でみる御所見／歴代御所見村長の肖像／「御所見」の由来御所見地区の古代／村の生い立ち 御所見地区の中世／寺の縁起／資料紹介(中世) 人返しの朱印状／資料紹介(近世) 葛原村の「潰れ家」再興／農村として御所見／御所見地区保存資料について／各資料群の概要／「藤沢市文書館資料目録(御所見地区)」(CD-ROM収録)について／もっと詳しく知りたい人へ／藤沢市行政区画変遷表／藤沢市および周辺行政区画変遷図／付属CD-ROM 藤沢市文書館資料目録(御所見地区)、藤沢市文書館写真目録(御所見地区)、寺の縁起(釈文)

◆富士講のひみつ

ふじさんミュージアム編 (〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田288-1 TEL0555-24-2411) 富士吉田市教育委員会刊 2015年11月 A5 34頁

2013年6月に「富士山一信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録されたのを機にリニューアルオープンした「ふじさんミュージアム―富士吉田市歴史民俗博物館」の企画展解説書。ふもと 富士講ってなに？／一合目 富士山信仰①／一合五勺 富士山信仰②／二合目 富士講のはじまり／コラム① 同行？講中？講社？富士講？／二合五勺 角行／三合目 角行の修行と教え／コラム② 富士山の神さまと富士講／四合目 角行の後継者／コラム③ 御身抜と護符(守・フセギ)／四合五勺 村上光清／五合目 月行と身祿／五合五勺 食行身祿の教え／六合目 食行身祿の御身抜／六合五勺 富士講のしくみ／七合目 富士講の行事／七合五勺 富士講と講印／八合目 江戸八百八町に八百八講／八合五勺 富士塚／九合目 胎内めぐり／山頂 御中道・内八海・外八海

◆ふじさんミュージアム展示解説

ふじさんミュージアム編(同上) 富士吉田市教育委員会刊 2016年3月 A4 80頁 富士吉田市を中心に広範囲に展開された信仰の世界と、富士山とともに歩んできた地域の歴史・文化・民俗を、さまざまな資料・データから紹介するふじさんミュージアムの展示図録。館内のご案内／富士山との出会い／富士山信仰(人はなぜ富士山に登るのか、富士登山の今昔、富士山信仰の起源と変遷、吉田の火祭)／御師町にざわいシアター／ヘリターシ富士／富士山とともに生きる(富士吉田の歴史、富士山とくらし)／付属施設

◆尾張・三河の花のとう 平成27年度 変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業

さいたま民俗文化研究所作成(〒359-1146 埼玉県所沢市小手指南5-6-9 TEL4-2948-9681) 文化庁文化財部伝統文化課刊(〒100-8559 東京都千代田区霞が関3-2-2) 2016年3月 A4 187頁

記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財に選択(平成8年度)され、愛知県で現在行われていることが確認できた18か所の神社や寺院の作占い行事「花のとう」の調査記録。

「花のとう」とは／熱田神宮の「花の撓」の歴史／熱田神宮の「豊年祭之絵図」を求める社寺及び関連する「花のとう」／津島神社「花の撓」／津島神社周辺の「花のとう」／文献に見る「花のとう」

◆東栄町の盆行事

―ハネコミ・手踊り・大念仏 東栄町盆踊り調査会編 東栄町文化遺産活用実行委員会(〒449-0214 愛知県北設楽郡東栄町本郷字上前畑25) 2016年3月 A4 222頁 冬の風物詩である「花祭」行事など、民俗の宝庫として知られる奥三河地方に位置する東栄町の盆行事調査報告書。昭和37年に「念仏

踊りと手踊り」が町文化財に指定されて以降、本格的な調査・記録保存が望まれていた盆の諸行事について、平成24年・同26年に行われた調査活動に基いて、その全体像を明らかにする。東栄町地図・北設楽郡地図／概論(坂本要)／ハネコミ・大念仏 古戸(久保田裕道)、上栗代(橋正道)、小林(中村茂子)、月(浅野久枝)、足込(近江礼子)、休止地区(三ツ瀬・桑原・柿野・尾籠・下栗代・布川・中設楽・下田)(坂本要・綿貫真理)／地念仏と百万遍(坂本要・中藪規正・浅野久枝)／盆念仏史料・手踊り歌詞・盆踊り関連の古文書・盆歌(近江礼子・浅野久枝)／東栄町の手踊り(城所恵子・丸山妙子・福田裕美)

◆『日出新聞』奈良県関係記事Ⅱ

奈良県同和問題関係史料17 奈良県立同和問題関係史料センター編・刊(〒630-8133 奈良県奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488) 2016年3月 A5 206頁 奈良県同和問題関係史料16『『日出新聞』奈良県関係記事Ⅰ』(2015年3月)に引き続き、現在の『京都新聞』の前身である『日出新聞』(明治18年(1885)4月10日創刊、同30年7月1

◆後記

前号で春の熊本、大分の震災に触れたが、夏の台風は北海道に大きな水害をもたらした。収穫間近な農業被害は甚大で、農家の落胆は計り知れないだろう。農村生まれの者として同情を禁じ得ない。それも収まらぬ内に、8月19日に八丈島近海で誕生し、南西に進んでいた台風10号が、沖縄県南大東島付近でUターンし、30日には関東から東北方面に上陸の恐れが出て来た(今これは8月29日朝に書いている)。大きな被害が出ないことを祈るばかりである。ところで、新聞・テレビは、「50年住んでいるがこんなことは初めて」と語る北海道農民の姿や、台風10号の進路は異例のコースであり、東北に直接上陸すれば1951年の中央気象台での観測が始まって以来と報じる。災害は私たちのちっぽけな経験を易々と越えて次々と襲いかかってくる。東日本大震災以後、全国の多くの郷土史研究雑誌が災害の特集を組んだ。被災の実体をリアルに伝えるものと、地名に刻まれた災害の痕跡など、歴史をさかのぼって土地の記憶を掘り起こすものがあつた。どちらも貴重な記録である。長い自然史、人類史の中で、災害は大小さまざまに繰り返されてきた。これからも、身近に起きている災害の掘り起こし、記録、伝達の作業を継続して行って欲しい。それが郷土史研究の役割であると思う。(飯澤)

日『京都日出新聞』改題)から、明治21年4月から同年12月までの奈良県に関する記事を翻刻・収録する。

◆明治維新と小郡

おごおり地域づくり協議会「明治維新と小郡」編集委員会編・刊(〒754-0002 山口県小郡市下郷609-1 TEL083-976-8588) 2016年3月

A5 82頁

平成30年に明治維新150年を迎えるにあたり、山口への玄関口として重要な役割を担った幕末維新期の小郡の歴史や、先人たちの姿をわかりやすくまとめたガイドブック。概説 明治維新と小郡宰判／史跡ガイド「明治維新と小郡」／「御維新之際小郡人民一致精心」(市指定文化財) 山口市小郡文化資料館寄託／引用・参考文献／写真・図版等提供者／参考文献紹介 『幕末動乱の小郡』(全32頁)／付図 “明治維新と小郡” MA P

◆お詫びと訂正

前号 129掲載の「日本学研究」の執筆者名に誤りがありました。お詫びして訂正します。34頁左 5行 誤「平泉隆房」 正「平泉紀房」

地方史情報 130 2016年(平成28年)10月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757